

令和3年度

第1回 県政モニターアンケート調査結果報告書



長野県

目 次

I	調査の概要	-----	1
II	結果の内容	-----	5
	【アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について】		
	問1	県の行政サービス全般についての満足度	6
	問2	県の各分野の行政サービスについての満足度	7
	問3	今後も取り組んでいくべきだと思うもの	8
	問4	今後、重点的に取り組んでいくべきだと思うもの	9
	問5	長野県の目指すべき姿・方向についてのご意見	10
	【自殺対策について】		
	問6	各相談窓口の認知度	11
	問7	新型コロナウイルス感染症の影響による悩み	13
	問8	相談したり助けを求めることにためらいを感じるか	15
	問9	相談することにためらいを感じる理由	17
	問10	「死にたい」ほどつらい気持ちになった時の相談先	18
	問11	いつもと様子が違う人に対して、実施していること	20
	【人生二毛作社会について】		
	問12	「人生二毛作社会」という表現について	21
	問13	県として力を入れるべき取り組み	23
	【道路整備等に関する意識調査について】		
	問14	道路整備状況の満足度	25
	問15	優先して整備すべき道路	26
	問16	日常利用している道路で優先して進めるべき対策	27
	問17	高齢歩行者に対する配慮として、必要な道路整備	28
	問18	地域が活性化するために、必要な道路整備	29
	問19	崩落や浸水による道路網分断等の不安	30
III	調査票	-----	31

I 調査の概要

1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政モニターアンケート調査」を実施しました。
今回の調査においては次の4項目について19問を設定しました。

(1) アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について

「新たな行政・財政改革方針」の策定にあたり、行政サービスの各分野に対する満足度、新たな行政課題等を調査

(2) 自殺対策について

「第3次長野県自殺対策推進計画」の評価及び県民の自殺対策に対する意識を把握するため、相談窓口の認知度等を調査

(3) 人生二毛作社会について

しあわせ信州創造プラン2.0「人生二毛作社会の実現」に対する意識やニーズを把握するため、「人生二毛作社会」という表現のイメージ等を調査

(4) 道路整備等に関する意識調査について

県民の道路整備等へのニーズについて意識変化を把握するため、道路整備状況に対する満足度を調査

2 調査の方法

(1) 調査地域：長野県全域

(2) 調査対象：県政モニター 1,249人

(現在の県政モニターは令和2年8月から登録)

(3) 調査方法：郵送又はインターネット

(4) 調査期間：令和3年8月31日(火)～令和3年9月14日(火)

3 回答状況

回答者数 899人 (回答率 72.0%)

【回答・募集方法別】

		回収数 (率)		回答方法内訳	
				郵送	インターネット
総数		回答者数 (A)	899人	473人	426人
		調査対象者(B)	1,249人	560人	689人
		回収率(A)/(B)	72.0%	84.5%	61.8%
募集方法内訳	公募	回答者数 (A)	22人	0人	22人
		調査対象者(B)	34人	1人	33人
		回収率(A)/(B)	64.7%	0.0%	66.7%
	無作為抽出	回答者数 (A)	877人	473人	404人
		調査対象者(B)	1,215人	559人	656人
		回収率(A)/(B)	72.2%	84.6%	61.6%

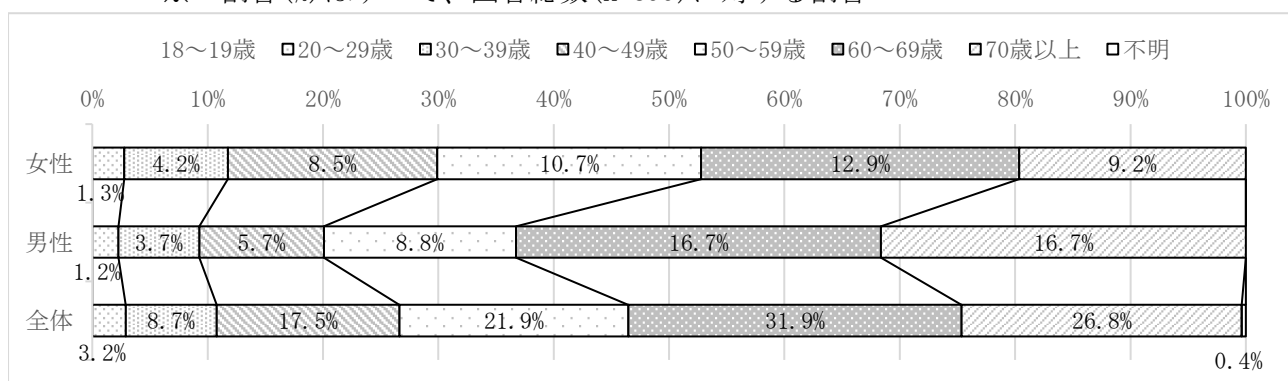
4 回答状況

【男女別・年代別】

(上段 回答者数：下段 割合)

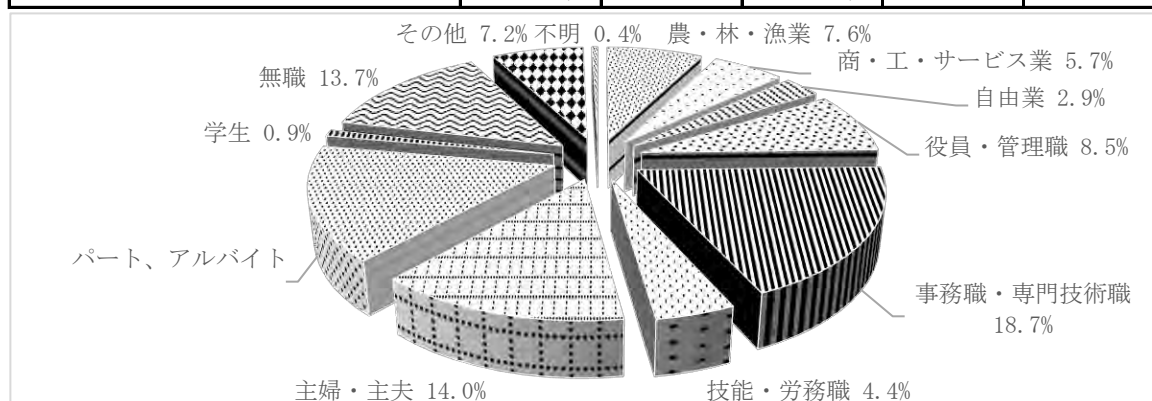
	総数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
総数	899人	0人	23人	71人	127人	175人	266人	233人
	100.0%	0.0%	2.6%	7.9%	14.1%	19.5%	29.6%	25.9%
男性	474人	0人	11人	33人	51人	79人	150人	150人
	52.7%	0.0%	1.2%	3.7%	5.7%	8.8%	16.7%	16.7%
女性	421人	0人	12人	38人	76人	96人	116人	83人
	46.8%	0.0%	1.3%	4.2%	8.5%	10.7%	12.9%	9.2%
不明	4人	-	-	-	-	-	-	-
	0.4%	-	-	-	-	-	-	-

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=899)に対する割合



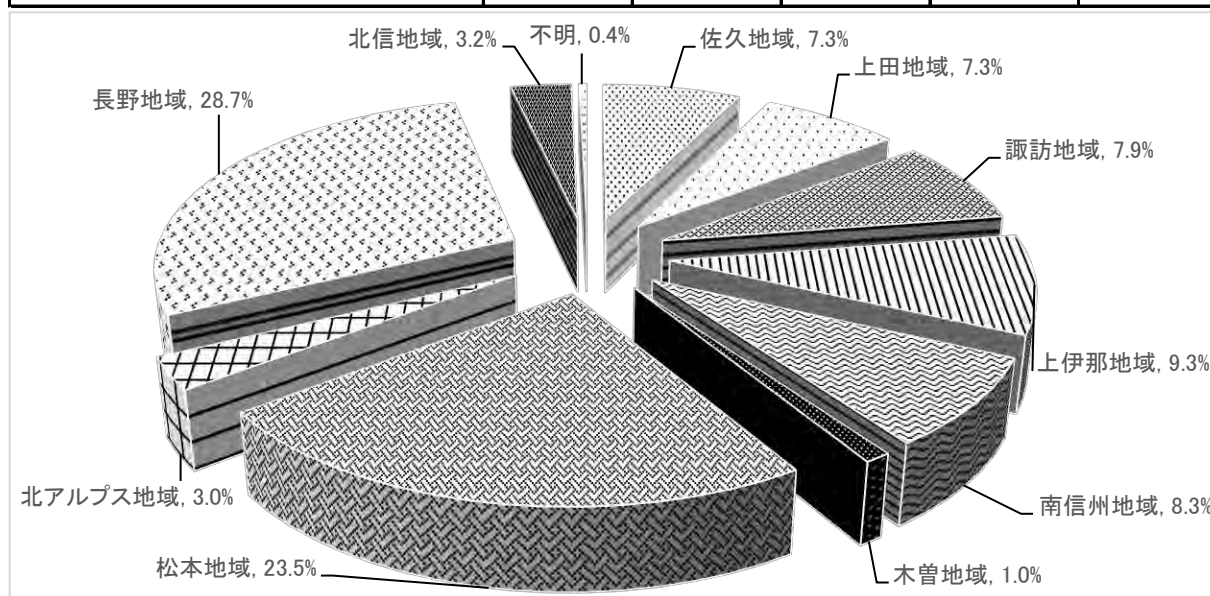
【職業別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	84人	6.7%	68人	7.6%	81.0%
商・工・サービス業	91人	7.3%	51人	5.7%	56.0%
自由業	38人	3.0%	26人	2.9%	68.4%
役員・管理職	116人	9.3%	76人	8.5%	65.5%
事務職・専門技術職	251人	20.1%	168人	18.7%	66.9%
技能・労務職	59人	4.7%	40人	4.4%	67.8%
主婦・主夫	153人	12.2%	126人	14.0%	82.4%
パート、アルバイト	187人	15.0%	144人	16.0%	77.0%
学生	17人	1.4%	8人	0.9%	47.1%
無職	153人	12.2%	123人	13.7%	80.4%
その他	100人	8.0%	65人	7.2%	65.0%
不明	-	-	4人	0.4%	-
合計	1249人	100.0%	899人	100.0%	72.0%



【地域別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	88人	7.0%	66人	7.3%	75.0%
上田地域	93人	7.4%	66人	7.3%	71.0%
諏訪地域	101人	8.1%	71人	7.9%	70.3%
上伊那地域	108人	8.6%	84人	9.3%	77.8%
南信州地域	102人	8.2%	75人	8.3%	73.5%
木曽地域	15人	1.2%	9人	1.0%	60.0%
松本地域	305人	24.4%	211人	23.5%	69.2%
北アルプス地域	44人	3.5%	27人	3.0%	61.4%
長野地域	353人	28.3%	257人	28.6%	72.8%
北信地域	40人	3.2%	29人	3.2%	72.5%
不明	—	—	4人	0.4%	—
合計	1249人	100.0%	899人	100.0%	72.0%



5 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。
 なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。
 回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「Ⅱ 結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。
 また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「4 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号等の記入がなく、回答者の属性が不明なものを示している。

Ⅱ 結果の内容

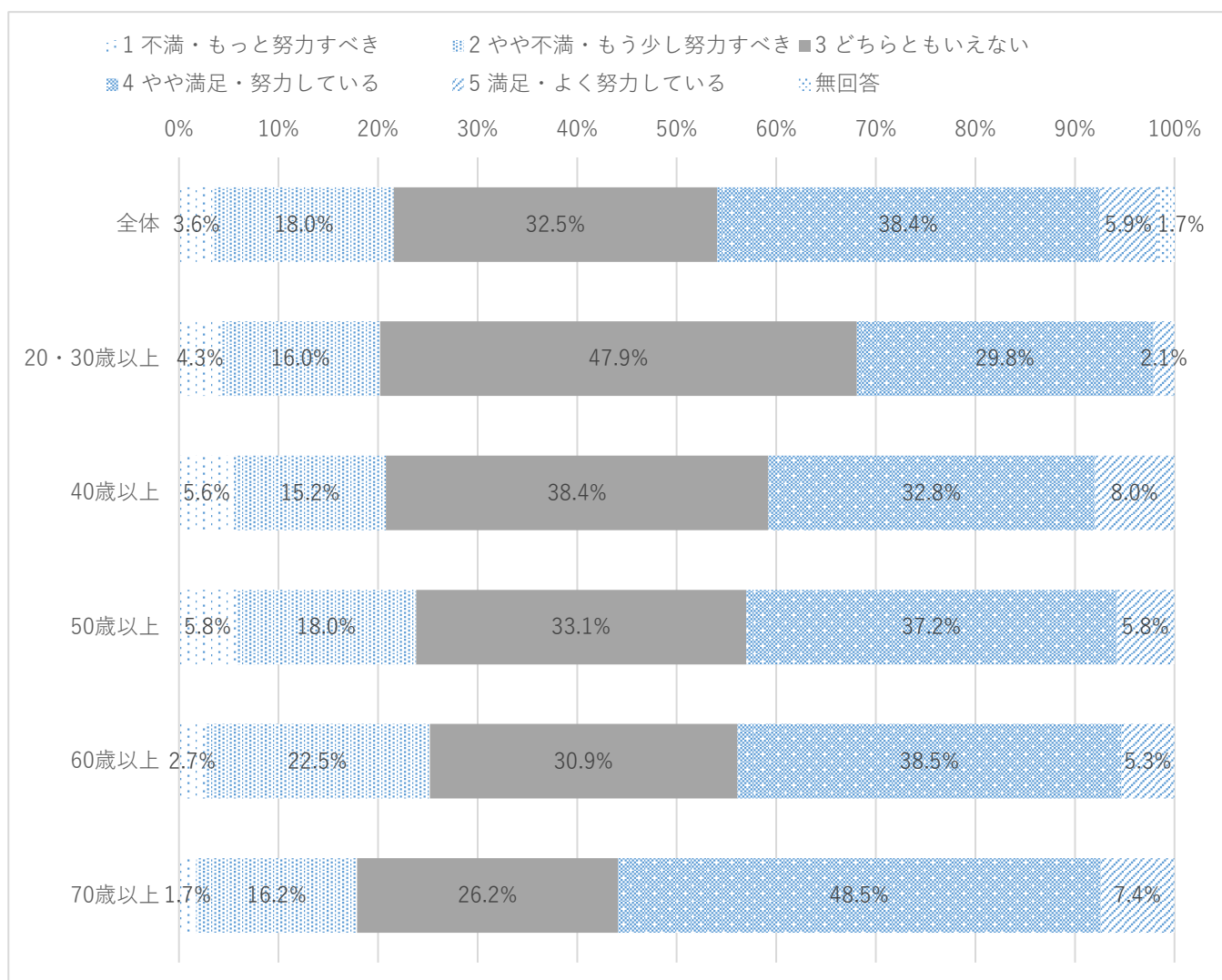
《アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について》

＜県の行っている行政サービス全般についての満足度＞
 「満足・努力している」、「やや満足・努力している」が全体の4割超

問1 県の行っている行政サービス全般について、あなたはどれくらい満足していますか。
 (○は1つ)

	n=899	回答数 (人)	割合 (%)
不満・もっと努力すべき		32	3.6%
やや不満・もう少し努力すべき		162	18.0%
どちらともいえない		292	32.5%
やや満足・努力している		345	38.4%
満足・よく努力している		53	5.9%
無回答		15	1.7%

- 「満足・努力している」、「やや満足・努力している」(＝満足層)が44.3%
- 「不満・もっと努力すべき」、「やや不満・もう少し努力すべき」(＝不満足層)が21.6%
- 年代別では、年代が上がるにつれて満足層が高くなる傾向にある。

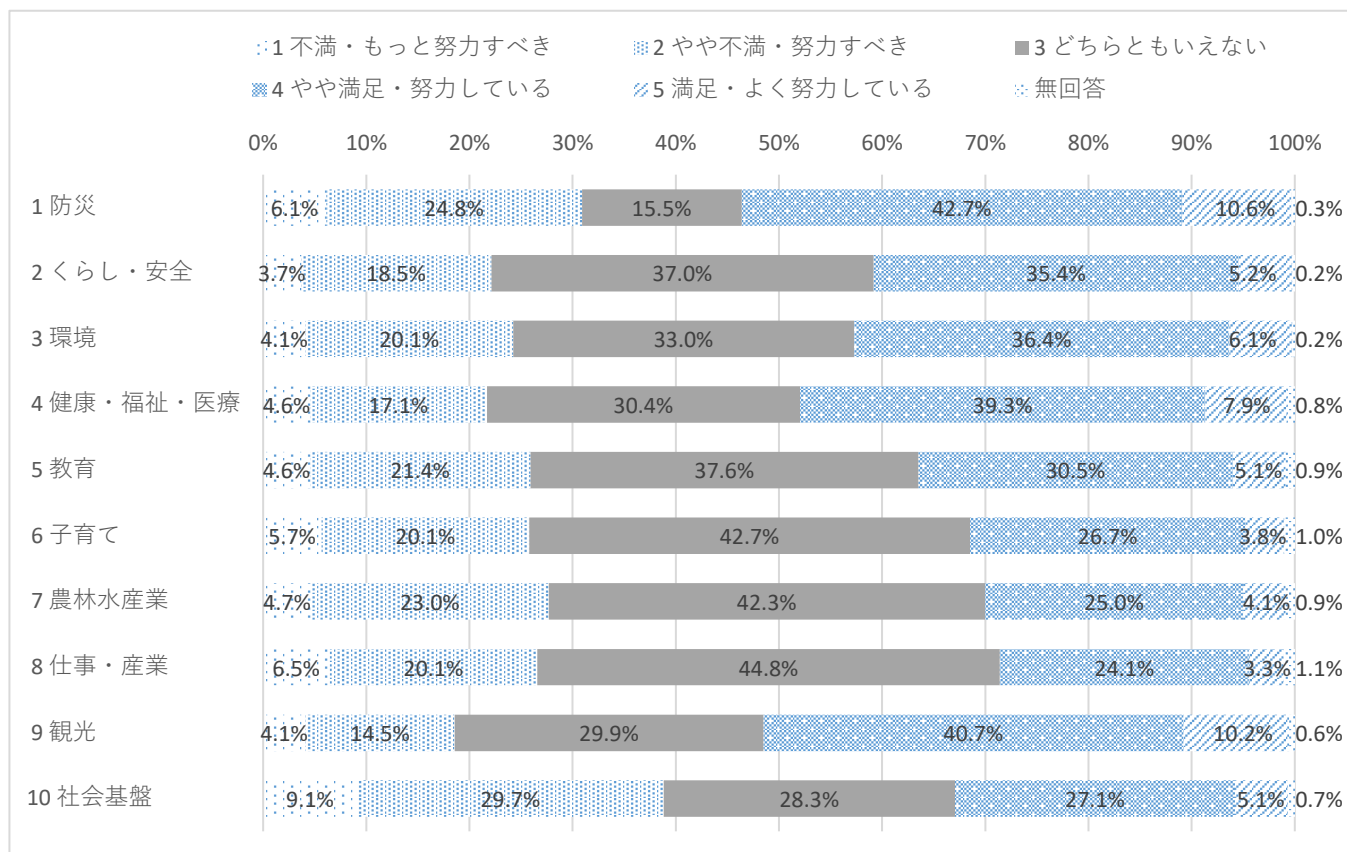


<県の行っている行政サービス(分野別)についての満足度>
 満足層は、「1 防災」で5割超(53.3%)、「9 観光」で約5割(50.9%)

問2 県の行っている以下の分野の行政サービスについて、それぞれ満足度を教えてください。

n=899、以下の表は割合(%)						
	1 不満・ もっと努力 すべき	2 やや不 満・もう少し 努力すべ き	3 どちらと もいえない	4 やや満 足・努力し ている	5 満足・よく 努力してい る	無回答
1 防災	6.1%	24.8%	15.5%	42.7%	10.6%	0.3%
2 暮らし・安全	3.7%	18.5%	37.0%	35.4%	5.2%	0.2%
3 環境	4.1%	20.1%	33.0%	36.4%	6.1%	0.2%
4 健康・福祉・医療	4.6%	17.1%	30.4%	39.3%	7.9%	0.8%
5 教育	4.6%	21.4%	37.6%	30.5%	5.1%	0.9%
6 子育て	5.7%	20.1%	42.7%	26.7%	3.8%	1.0%
7 農林水産業	4.7%	23.0%	42.3%	25.0%	4.1%	0.9%
8 仕事・産業	6.5%	20.1%	44.8%	24.1%	3.3%	1.1%
9 観光	4.1%	14.5%	29.9%	40.7%	10.2%	0.6%
10 社会基盤	9.1%	29.7%	28.3%	27.1%	5.1%	0.7%

- 「1 防災」、「9 観光」で満足層の回答が高い傾向にある。(防災：53.3%、観光：50.9%)
 一方で、「1 防災」は、不満層も30.9%と高い。
 「10 社会基盤」については、不満層が38.8%と唯一、不満層が満足層より高くなった。



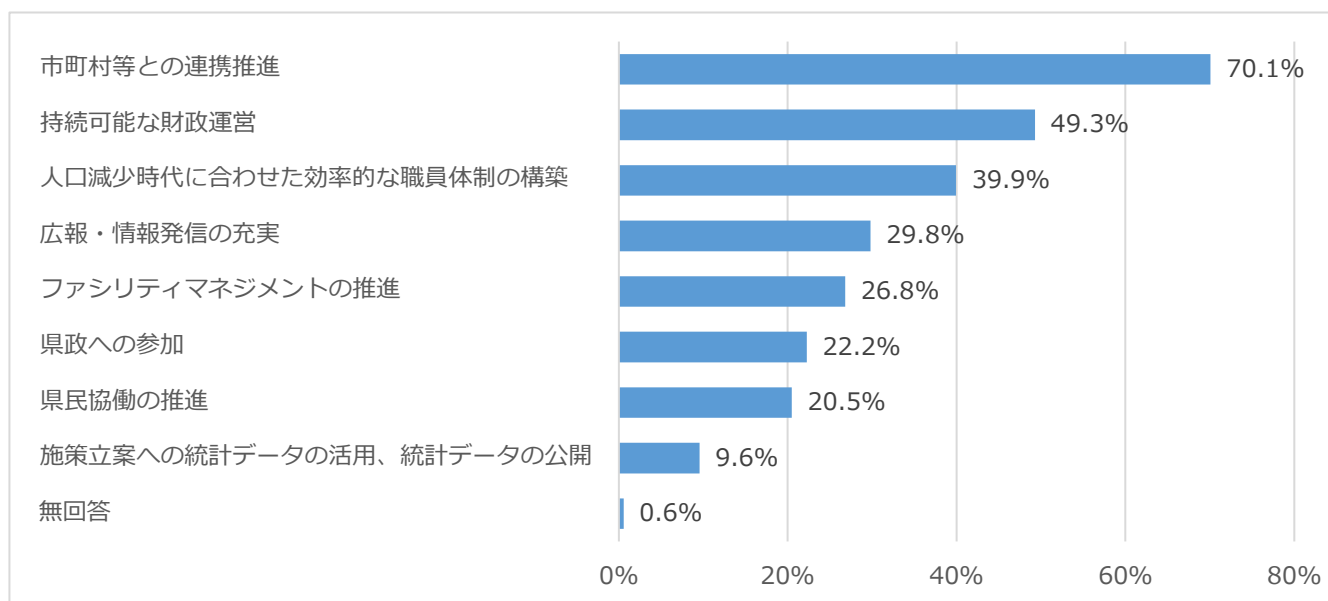
《アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について》

＜現在の取組のうち、今後も重点的に取り組むべきだと思うもの＞
 「3 市町村との連携推進」が最も多く回答された。(約7割)

問3 県では、行政サービスの質の向上に向け、行政経営方針に基づき、行政・財政改革に取り組んでいます。現在取り組んでいる以下の取組について、今後も取り組んでいくべきだと思うものを選んでください。(〇は3つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
n=899		
市町村等との連携推進(災害対応、観光振興など広域的課題における国、他県、市町村等との連携)	630	70.1%
持続可能な財政運営(税込・新たな歳入の確保、重要施策・課題への予算の重点化、行政コストの公表など財政の「見える化」)	443	49.3%
人口減少時代に合わせた効率的な職員体制の構築	359	39.9%
広報・情報発信の充実(SNSやチャットを活用した様々な媒体による県行政の取組や長野県の魅力の効果的な発信、見やすくわかりやすいホームページづくり)	268	29.8%
ファシリティマネジメントの推進(県有財産の総量縮小、県有財産の効率的利用、県有施設の長寿命化・維持管理の適正化)	241	26.8%
県政への参加(施策の企画立案や事業実施における県民や関係者の意見の把握と県政への反映)	200	22.2%
県民協働の推進(県民、NPO、企業など多様な主体との協働の推進)	184	20.5%
施策立案への統計データの活用、県が保有する統計データの公開(オープンデータ化)	86	9.6%
無回答	5	0.6%

●今後も重点的に取り組んでいくべきだと思うものとしては、「市町村との連携推進」が最も多く回答され(70.1%)、次いで、「持続可能な財政運営」(49.3%)、「人口減少時代に合わせた効率的な職員体制の構築」(39.9%)となった。



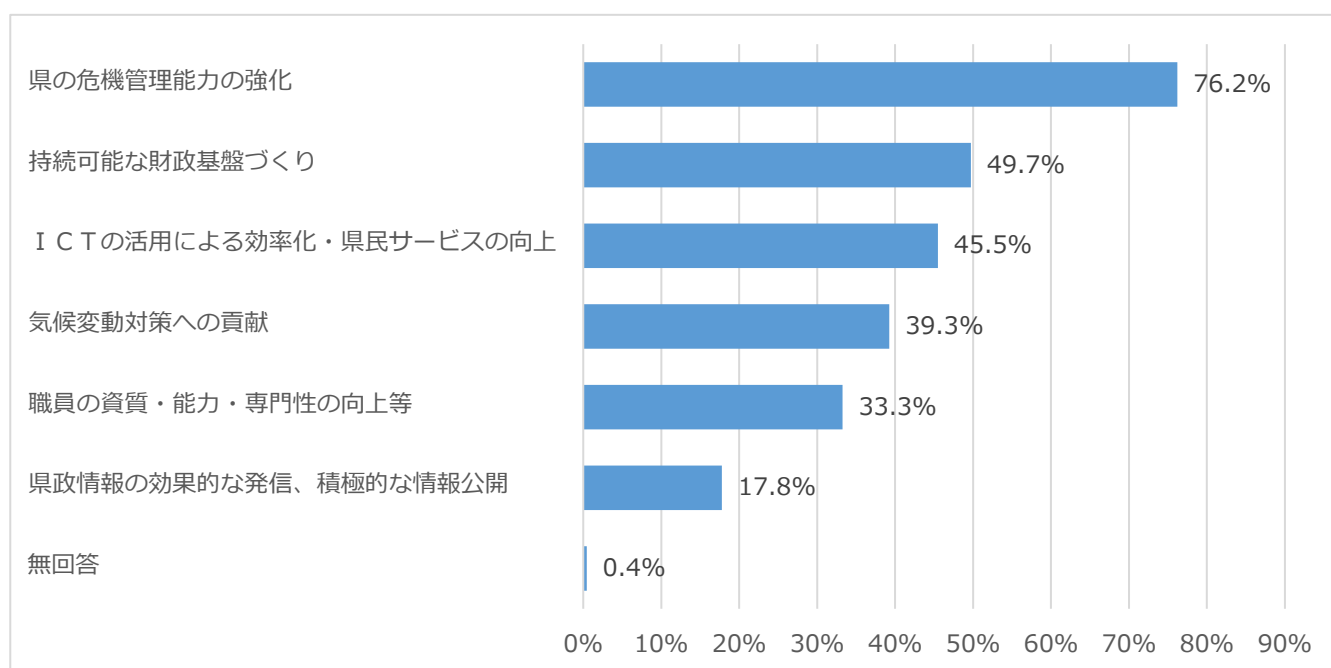
《アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について》

＜今後の行財政改革で、重点的に取り組むべきだと思うもの＞
 「5 県の危機管理能力の強化」が最も多く回答された。(8割弱)

問4 県では、社会情勢の急速な変化に伴う新たな行政課題に対応していくため、新たな行政・財政改革に取り組もうとしています。今後の行政・財政改革では、どのような分野を重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
n=899		
県の危機管理能力の強化(大規模災害や新型コロナ等の危機事象への対応等)	685	76.2%
持続可能な財政基盤づくり(徹底した事務事業の見直しや歳出削減・歳入確保等)	447	49.7%
ICTの活用による効率化・県民サービスの向上(行政手続のオンライン化、AI(人工知能)・RPAの活用による仕事の減量化・業務効率化、県税・県有施設におけるキャッシュレス決済の拡大等)	409	45.5%
気候変動対策への貢献(持続可能な脱炭素(ゼロカーボン)社会づくり)	353	39.3%
職員の資質・能力・専門性の向上、学ぶ姿勢への意識改革	299	33.3%
県政情報の効果的な発信、積極的な情報公開(SNSやチャットの積極的・有効活用等)	160	17.8%
無回答	4	0.4%

●今後、重点的に取り組んでいくべき分野を3つ回答してもらったところ、「県の危機管理能力の強化」が最も多く回答され(76.2%)、次いで、「持続可能な財政基盤づくり」(49.7%)、「ICTの活用による効率化・県民サービスの向上」(45.5%)と続いた。



《アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について》

＜今後の長野県の目指すべき姿・方向についてのご意見＞
899人の回答者のうち、365人からご意見をいただいた。（約4割）

問5 今後の長野県の目指すべき姿・方向についてご意見がありましたらおきかせください。

	回答数 (人)	割合 (%)
意見数	365	40.6%

回答した県政モニター899人中、365人から意見があった。
主な意見は以下のとおり（抜粋）。

- 異常気象に伴う災害の頻発化・大規模化に対応したインフラの整備、気候変動対策、防災・避難情報をわかりやすく伝える工夫が必要。
- コロナ禍などで先が見えない時代、県職員は前例踏襲にならず、柔軟な発想で市町村やNPO等と連携・協働し、先見性を持って業務にあたるべき。また、職員の専門性向上や多様な経験が得られるように効果的な研修を実施すべき。
- 行政のデジタル化について、届出や各種申請を役所に行かずに完結することができる「行政サービスのオンライン化」やどの市町村でも一定水準以上の行政サービスが受けられるようにすべき。
- スマートフォン、パソコンなどが苦手な方でも安心して行政サービスを受け、必要な情報が取得できるような配慮が必要。
- 人口が減少する中、若者や子どもたちが長野県に住み続けたいと思えるよう子育て支援策や教育の充実が必要。
- 「長野県らしさ」を全面に出したPRや支援制度により、移住者や交流人口を増やす取組が必要。
- 長野県にある自然環境や歴史的景観の保護、さらなるPR、周辺環境の整備。

また、県が行っている施策や事業について、「ほとんど知らない」、「わからない」、「興味関心が持てない」といった「県政との距離」を指摘する声が一定数あり、多くの県民が県政に興味・関心が持てるように県政情報の効果的な発信・広報を望む声があった。また、施策や事業の実施後に成果や効果の検証・公表（アフターフォロー）がより足りていないとする声があった。

《自殺対策について》

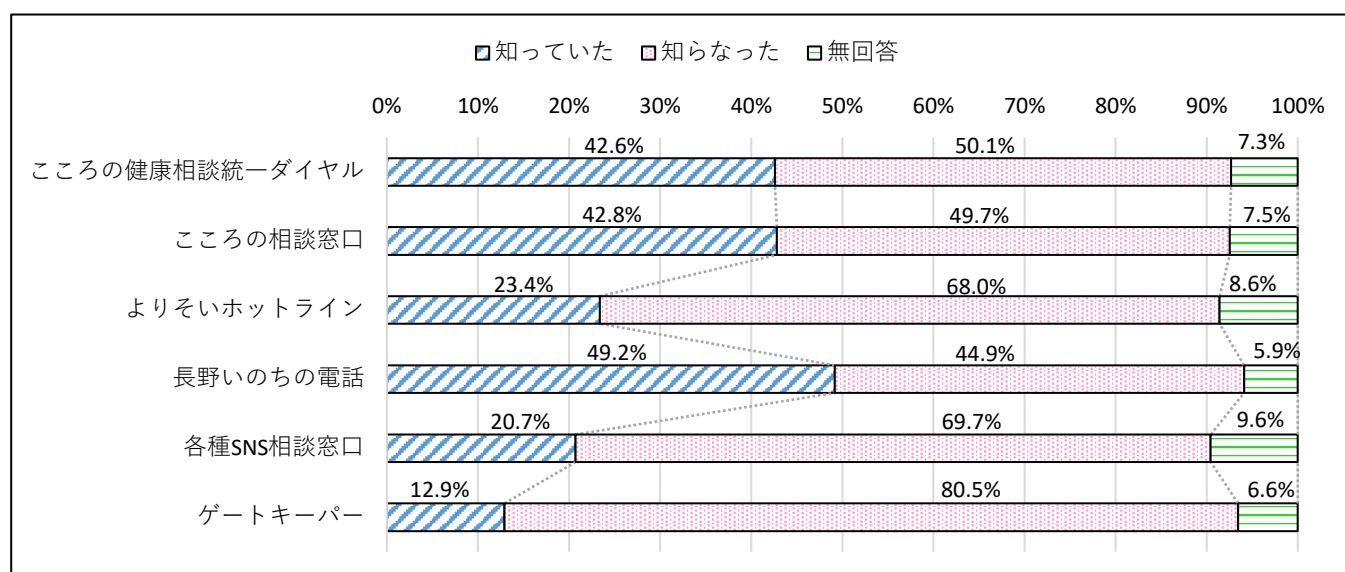
＜自殺対策に関する相談窓口の認知度＞

「いのちの電話」の認知度は約5割、「こころの健康相談統一ダイヤル」「こころの相談窓口」は4割超

問6 自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。次のそれぞれの項目について、該当するもの1つだけに○をつけてください。(○はひとつずつ)

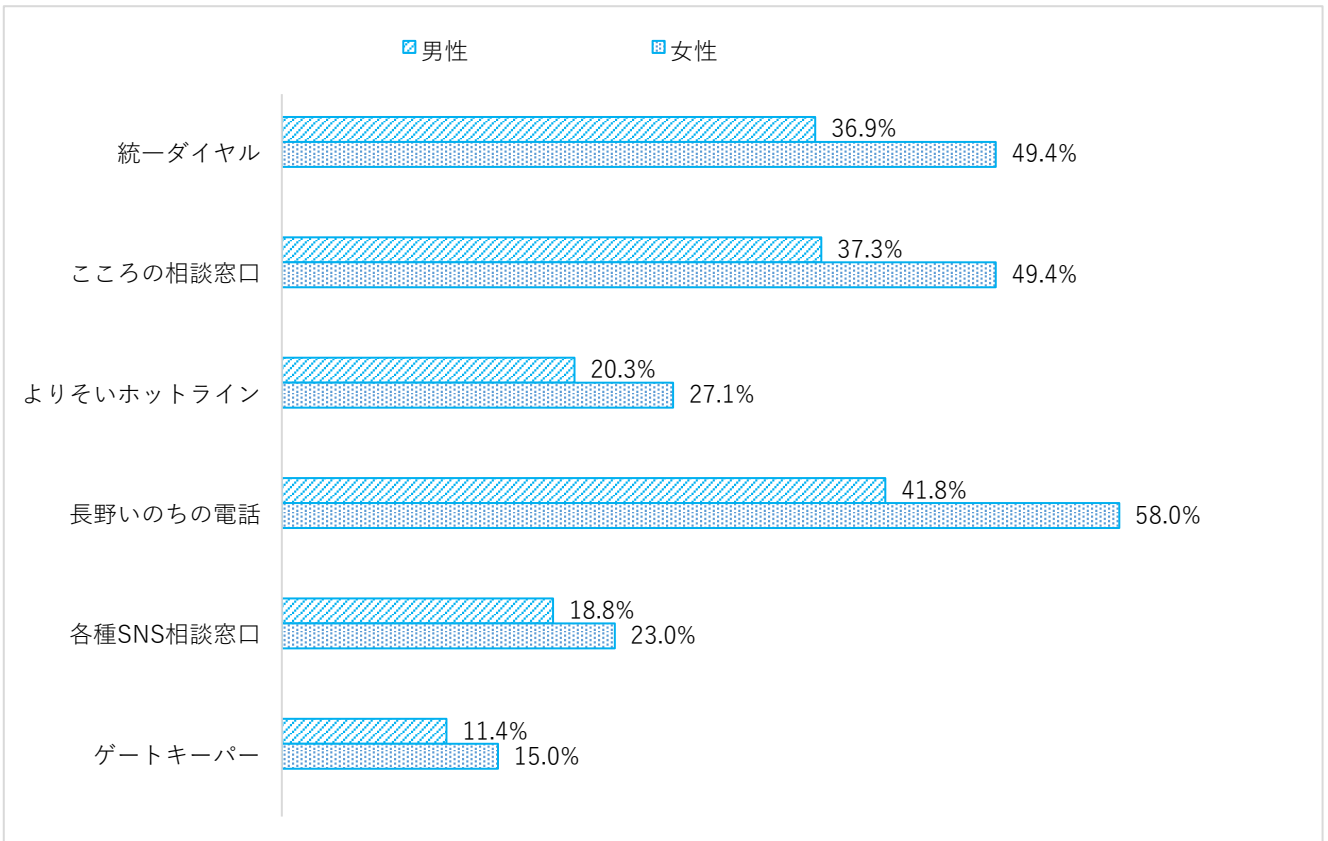
		n=899	回答数 (人)	割合 (%)
こころの健康 相談統一 ダイヤル	知っていた		383	42.6
	知らなかった		450	50.1
	無回答		66	7.3
こころの相談 窓口	知っていた		385	42.8
	知らなかった		447	49.7
	無回答		67	7.5
よりそいホット ライン	知っていた		210	23.4
	知らなかった		612	68.0
	無回答		77	8.6
長野いのちの 電話	知っていた		442	49.2
	知らなかった		404	44.9
	無回答		53	5.9
各種SNS相談 窓口	知っていた		186	20.7
	知らなかった		627	69.7
	無回答		86	9.6
ゲートキー パー	知っていた		116	12.9
	知らなかった		724	80.5
	無回答		59	6.6

●「いのちの電話」は49.2%、「こころの相談窓口」は42.8%、「こころの健康相談統一ダイヤル」は42.6%の認知度があるが、「ゲートキーパー」の認知度が12.9%と低い。



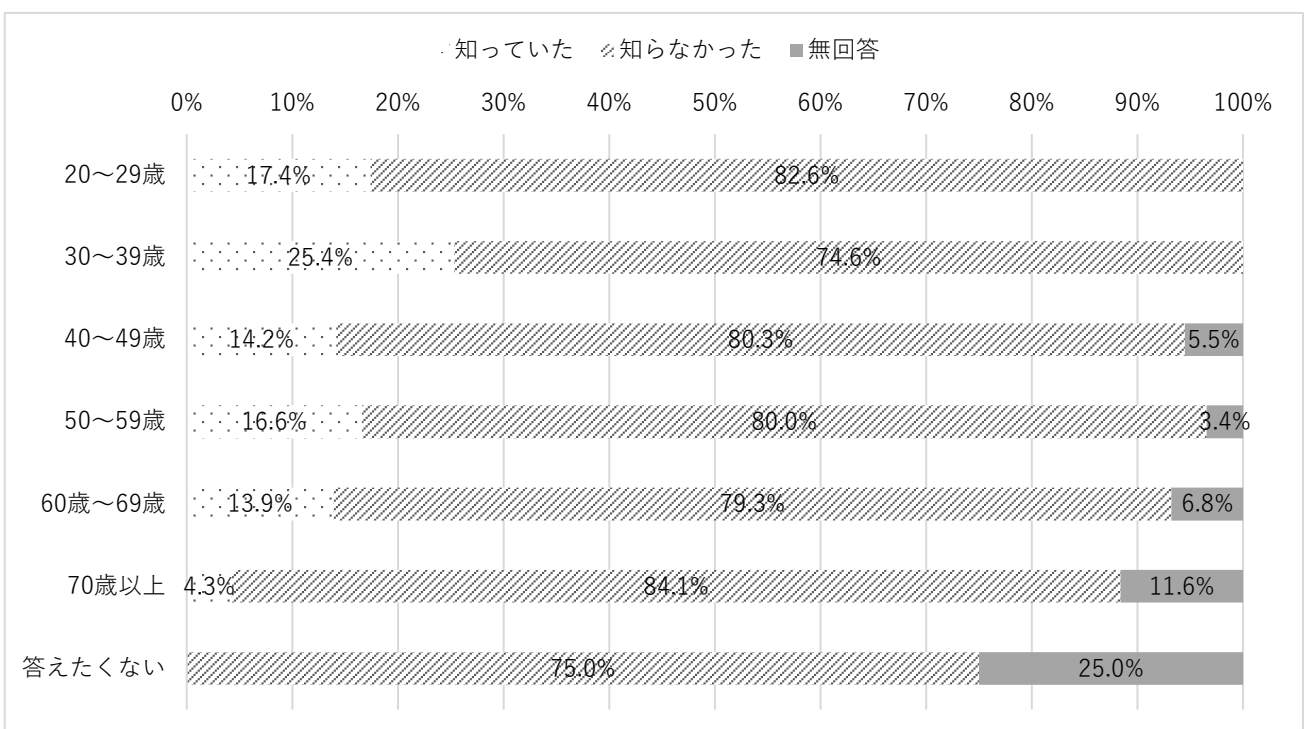
各相談窓口の認知度の男女別の割合

●全ての相談窓口において、女性に比べて男性の認知度が低い傾向がある。



最も認知度が低かった「ゲートキーパー」の年代別の割合

●30代が25.4%と最も高く、70代以上が4.3%と最も低い。



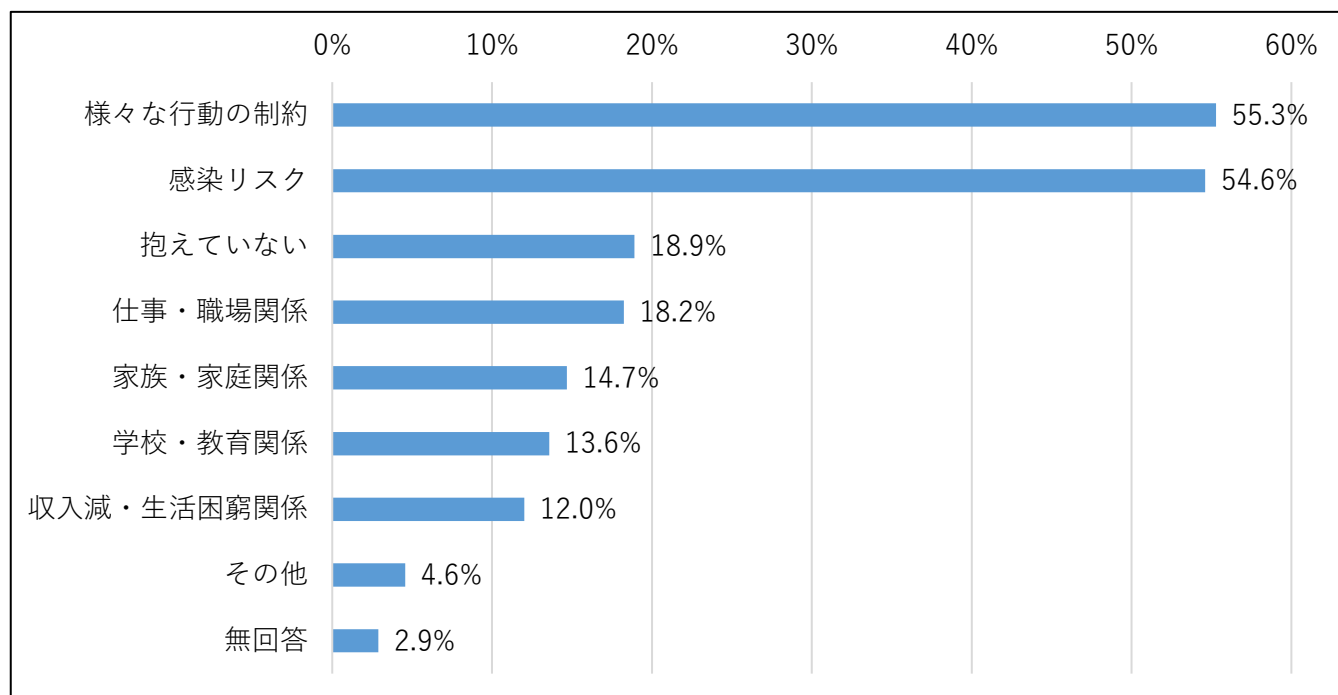
＜新型コロナウイルス感染症の影響で抱える悩みやストレス＞

行動制約や感染リスクがそれぞれ5割超となったが、悩みやストレスを抱えていない方も約2割いた。

問7-1 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩みやストレスを抱えていますか。それはどのような悩みですか。以下のあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	n=899	回答数 (人)	割合 (%)
様々な行動の制約		497	55.3%
感染リスク		491	54.6%
抱えていない		170	18.9%
仕事・職場関係		164	18.2%
家族・家庭関係		132	14.7%
学校・教育関係		122	13.6%
収入減・生活困窮関係		108	12.0%
その他		41	4.6%
無回答		26	2.9%

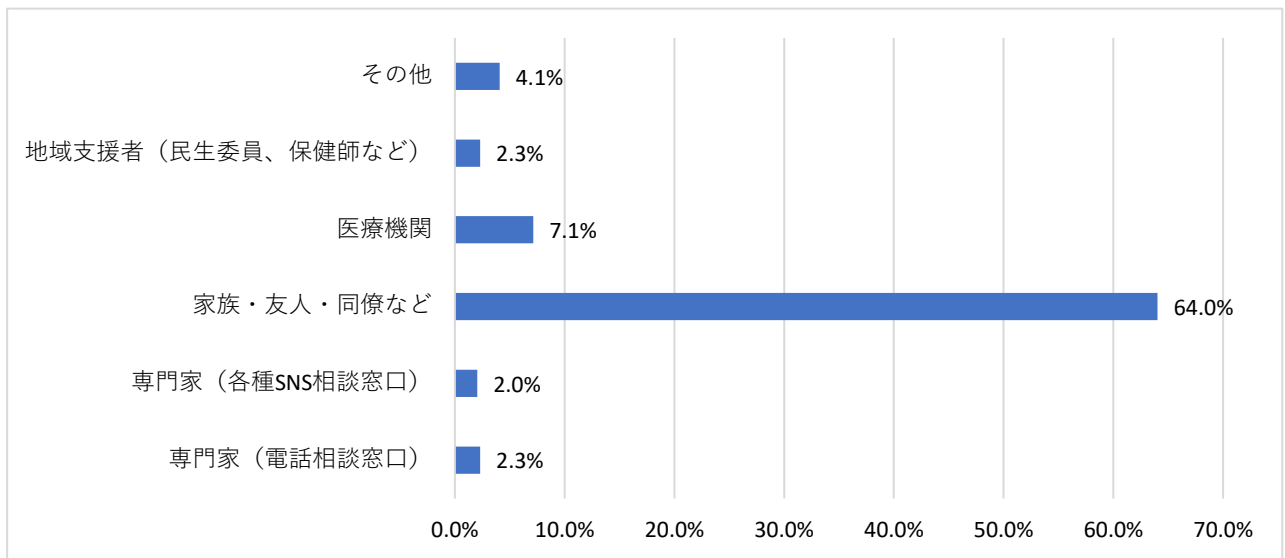
●「様々な行動の制約」が55.3%と最も多く、次に「感染リスク」(54.6%)となっているが、一方で悩みを「抱えていない」人が18.9%いた。



- 「家族・友人・同僚など」が64.0%と、相談先として突出して多い。

○問7-1で相談した場合の具体的な相談先

	n=392	回答数 (人)	割合 (%)
専門家(電話相談窓口)		9	2.3%
専門家(各種SNS相談窓口)		8	2.0%
家族・友人・同僚など		251	64.0%
医療機関		28	7.1%
地域支援者(民生委員、保健師など)		9	2.3%
その他		16	4.1%



＜新型コロナウイルス感染症の影響で抱える悩みやストレスの具体的な内容＞
 コロナの影響で様々な対応や制約が求められたことによるストレスが約4割

問7-2 問7-1で①～⑦を選択した方にお聞きします。悩みやストレスの具体的な内容をお聞かせください。

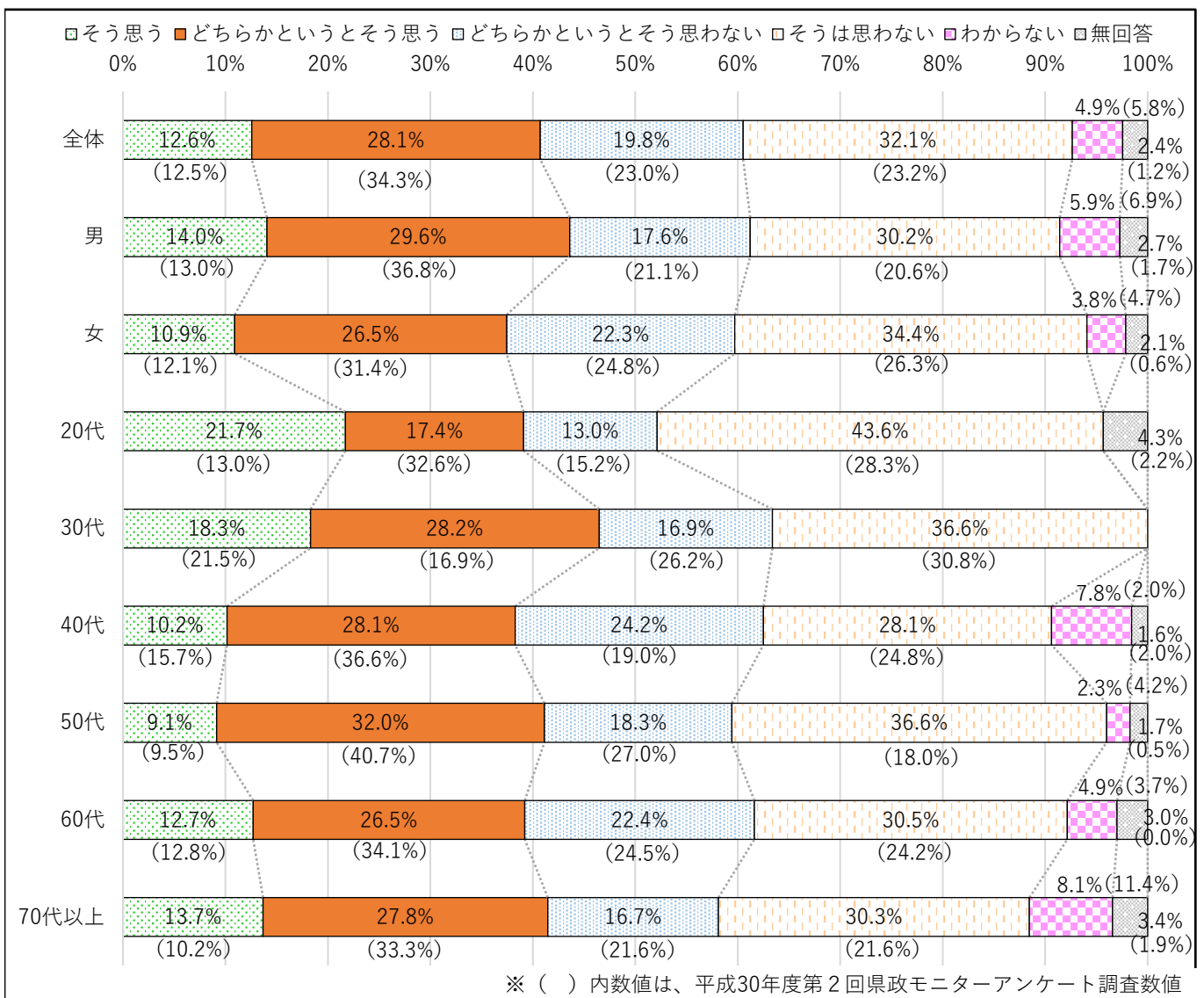
- その他及び主な具体的な悩みやストレスの内容は次のとおり。()内の数字は回答割合。
- コロナの影響で様々な対応や制約が求められストレスが増加 (43.6%)
- 自身や身近な人等が感染しないか、感染した場合の対応や誹謗中傷が心配 (18.2%)
- 仕事や収入・売上が(大幅に)減少・不安定または仕事がない (9.8%)
- 子どもの学校行事等の中止や普段の生活の変化による子どものころへの影響が心配 (5.3%)
- 家族、友人、同僚等との関わりやコミュニケーションの減少によるストレスの増加 (4.8%)
- ワクチン接種に係る様々な不安(効果、副反応、未接種への差別)など (3.9%)
- 県外や感染拡大地域からの訪問・来客が気がかり (3.7%)
- コロナ危機による漠然とした社会全体への不安、閉塞感 (3.7%)

<悩みの相談に対するためらい>
「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせると約4割

問8 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(〇はひとつ)

	R3年度 n=899		H30年度 n=1,008	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
そう思う	113	12.6%	126	12.5%
どちらかというと思う	253	28.1%	346	34.3%
どちらかというと思わない	178	19.8%	232	23.0%
そうは思わない	289	32.1%	234	23.2%
わからない	44	4.9%	58	5.8%
無回答	22	2.4%	12	1.2%

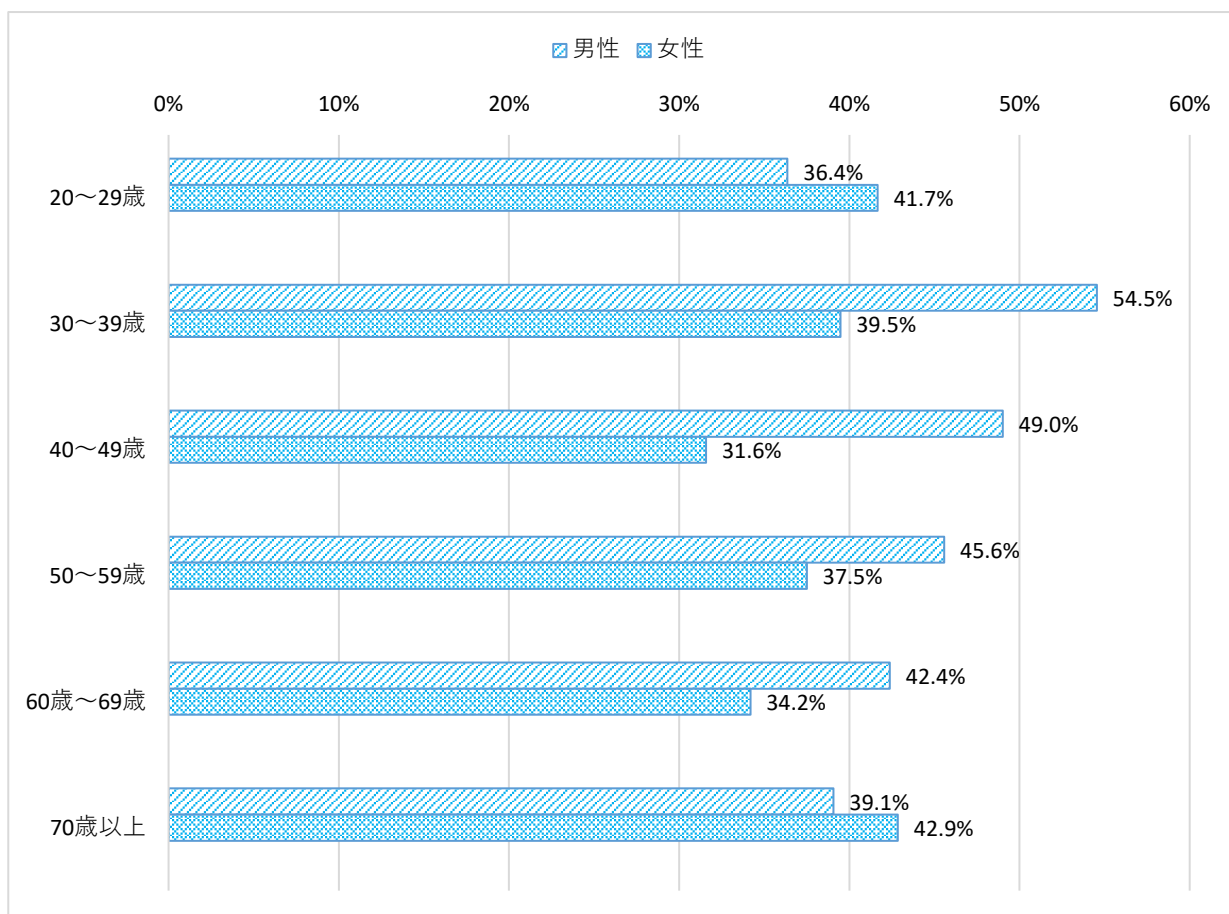
●「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせると、全体では40.7%となり、男女別では男性(43.6%)の方が女性(37.4%)より高く、年代別では30代が46.5%で最も高い。H30年度は46.8%で、6.1ポイント減少した。



問8で「そう思う」または「どちらかというと思う」と回答した方の内訳

●特に男性の30代（54.5%）、40代（49.0%）、50代（45.6%）の割合が高い。
 ※各年代の性別ごとの回答者数を母数とし、各年代の回答割合を算出

	男性		女性		計		回答者内訳 (人)	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	男性	女性
	20～29歳	4	36.4%	5	41.7%	9	39.1%	11
30～39歳	18	54.5%	15	39.5%	33	46.5%	33	38
40～49歳	25	49.0%	24	31.6%	49	38.6%	51	76
50～59歳	36	45.6%	36	37.5%	72	41.1%	79	96
60歳～69歳	64	42.7%	40	34.5%	104	39.1%	150	116
70歳以上	59	39.3%	36	43.4%	95	40.8%	150	83
不明					4	50.0%	4	4
計	206	43.3%	156	36.9%	366	40.7%	476	423



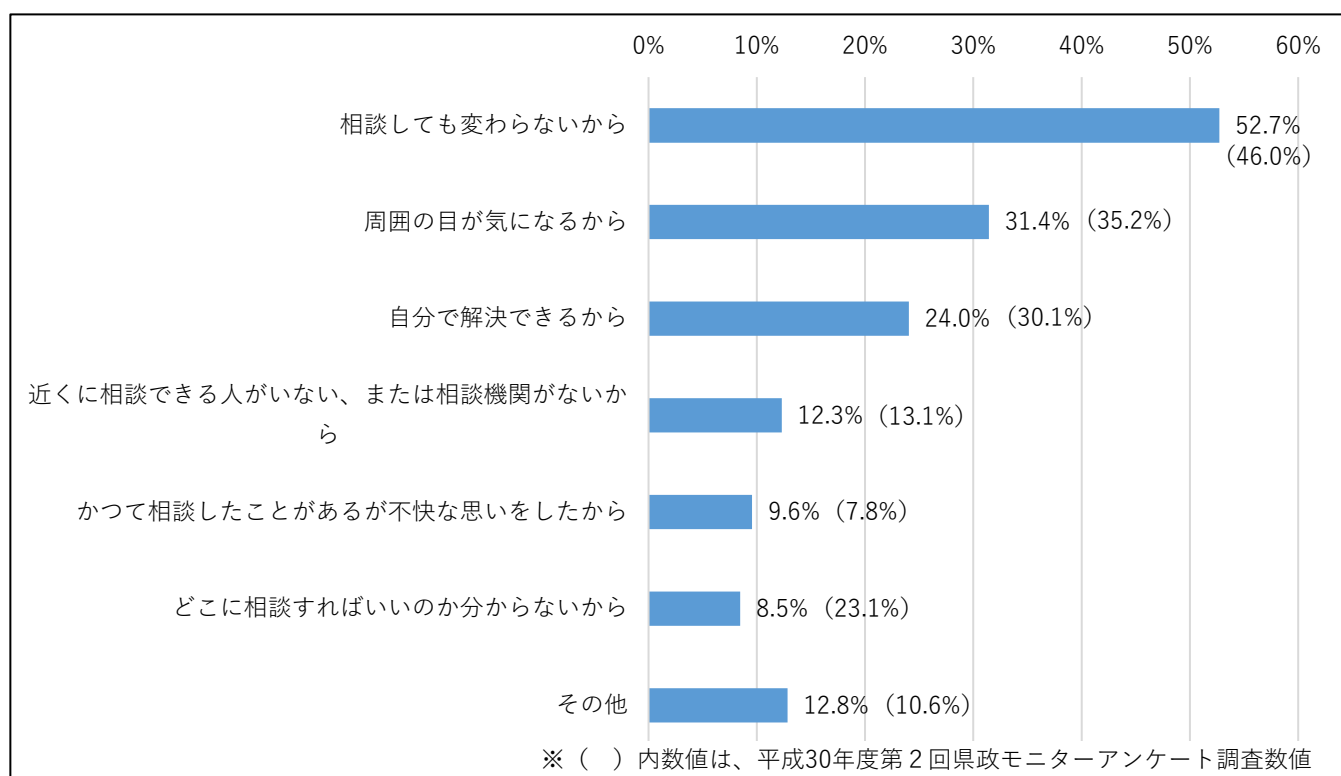
<悩みの相談にためらう理由>

「相談しても変わらないから」が5割超、「周囲の目が気になるから」が約3割

問9 問8で「そう思う」または「どちらかというと思う」を選ばれた方にお伺いします。誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるのはなぜですか。その理由について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R3年度 n=366		H30年度 n=472	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
相談しても変わらないから	193	52.7%	217	46.0%
周囲の目が気になるから	115	31.4%	166	35.2%
自分で解決できるから	88	24.0%	142	30.1%
近くに相談できる人がいない、または相談機関がないから	45	12.3%	62	13.1%
かつて相談したことがあるが不快な思いをしたから	35	9.6%	37	7.8%
どこに相談すればいいのかわからないから	31	8.5%	109	23.1%
その他	47	12.8%	50	10.6%
無回答	5	1.4%	—	—

●「相談しても変わらないから」が52.7%と最も高く、次いで「周囲の目が気になるから」が31.4%、「自分で解決できるから」が24.0%と続いている。



その他の主な内容は次のとおり。

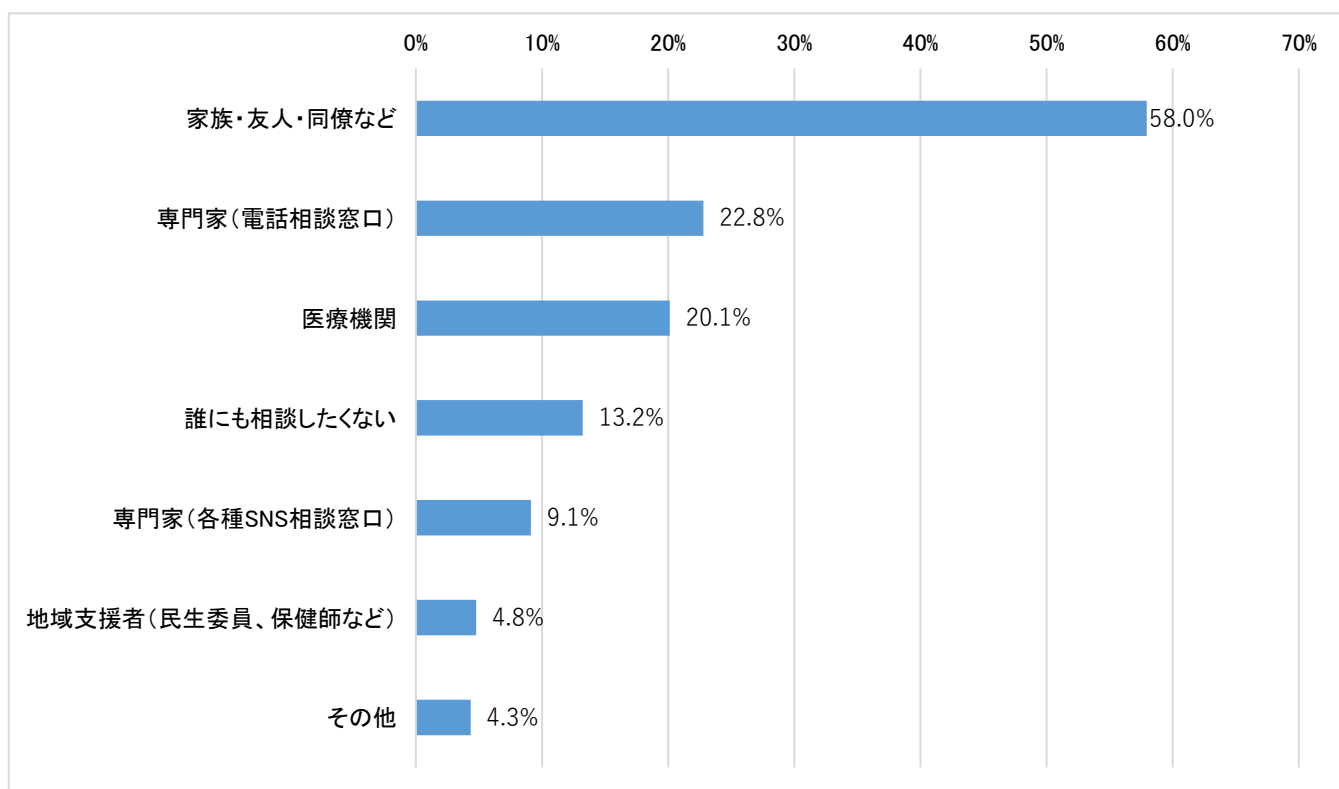
- 結局は自分で解決しなくてはいけない。
- 相談相手への遠慮、負担をかけたくない。
- 皆多かれ少なかれ悩みを持っている。
- 相談内容の流出や相手にどう思われるか心配。

＜「死にたい」ほどつらい時の相談相手＞
 「家族・友人・同僚など」が約6割、「誰にも相談したくない」が1割超

問10 「死にたい」ほどつらい気持ちになったとき、どのような相談相手(窓口)に相談したいと思いますか。
 該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	n=899	回答数 (人)	割合 (%)
家族・友人・同僚など		521	58.0%
専門家(電話相談窓口)		205	22.8%
医療機関		181	20.1%
誰にも相談したくない		119	13.2%
専門家(各種SNS相談窓口)		82	9.1%
地域支援者(民生委員、保健師など)		43	4.8%
その他		39	4.3%
無回答		97	10.8%

●「家族・友人・同僚など」が58.0%と最も高く、次いで「専門家(電話相談窓口)」が22.8%、「医療機関」が20.1%と続いている。



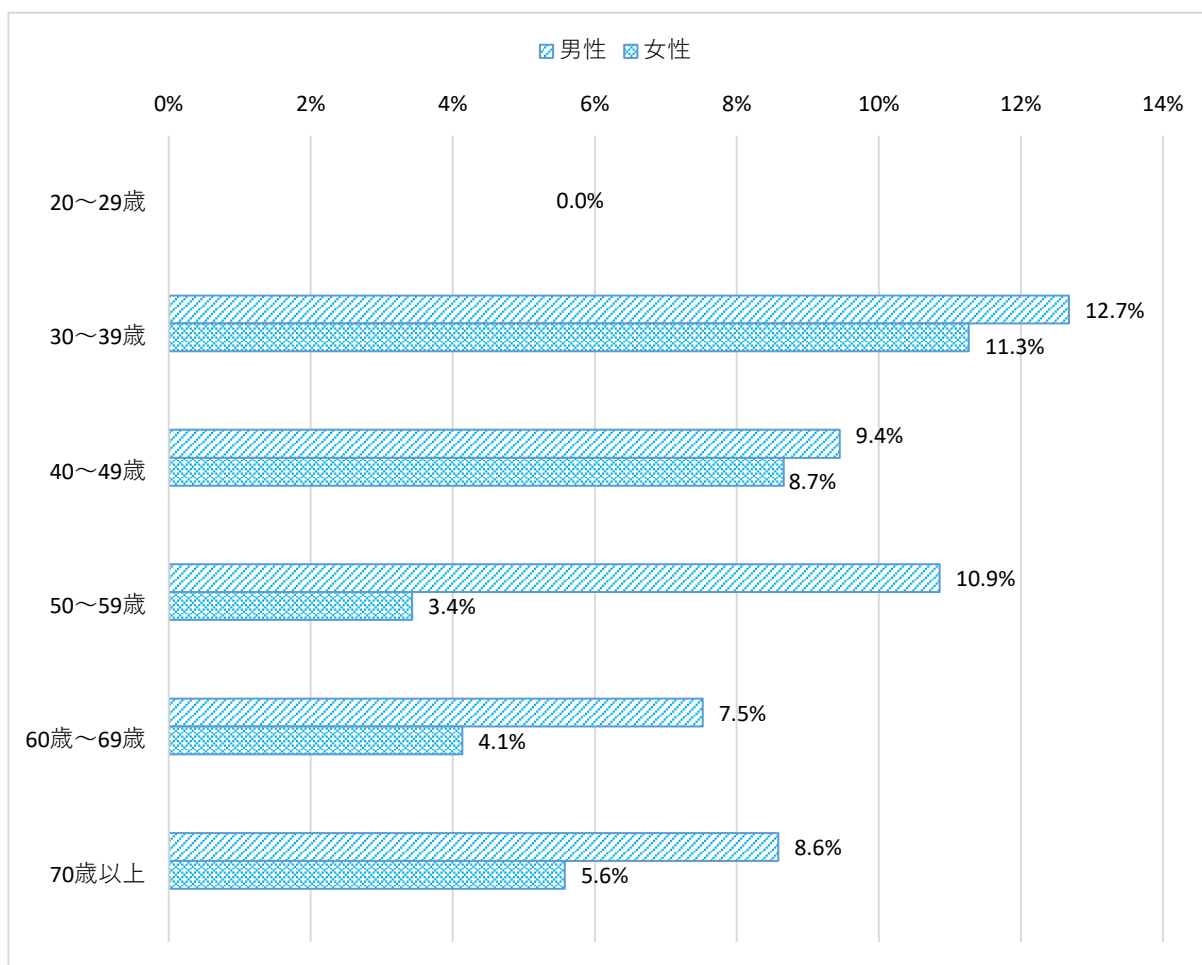
その他の主な内容は次のとおり。

- そこまで思ったことがない。
- 信頼できる人(恩師、年上の人、カウンセラーなど)
- 本で気持ちを持ち直した。

問10で「誰にも相談したくない」と回答した方の内訳

●「30～39歳」が23.9%と最も多く、全年代で男性の方が多い。
 ※各年代の回答者数を母数とし、各年代の回答割合を算出

	男性		女性		計		回答者 内訳 (人)
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	
20～29歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	23
30～39歳	9	12.7%	8	11.3%	17	23.9%	71
40～49歳	9	9.4%	11	8.7%	20	18.1%	127
50～59歳	12	10.9%	6	3.4%	18	14.3%	175
60歳～69歳	19	7.5%	11	4.1%	30	11.7%	266
70歳以上	20	8.6%	13	5.6%	33	14.2%	233
不明					1	25.0%	4
計	69		49		119	13.2%	899



<いつもと様子が違う人に普段から実施していること>

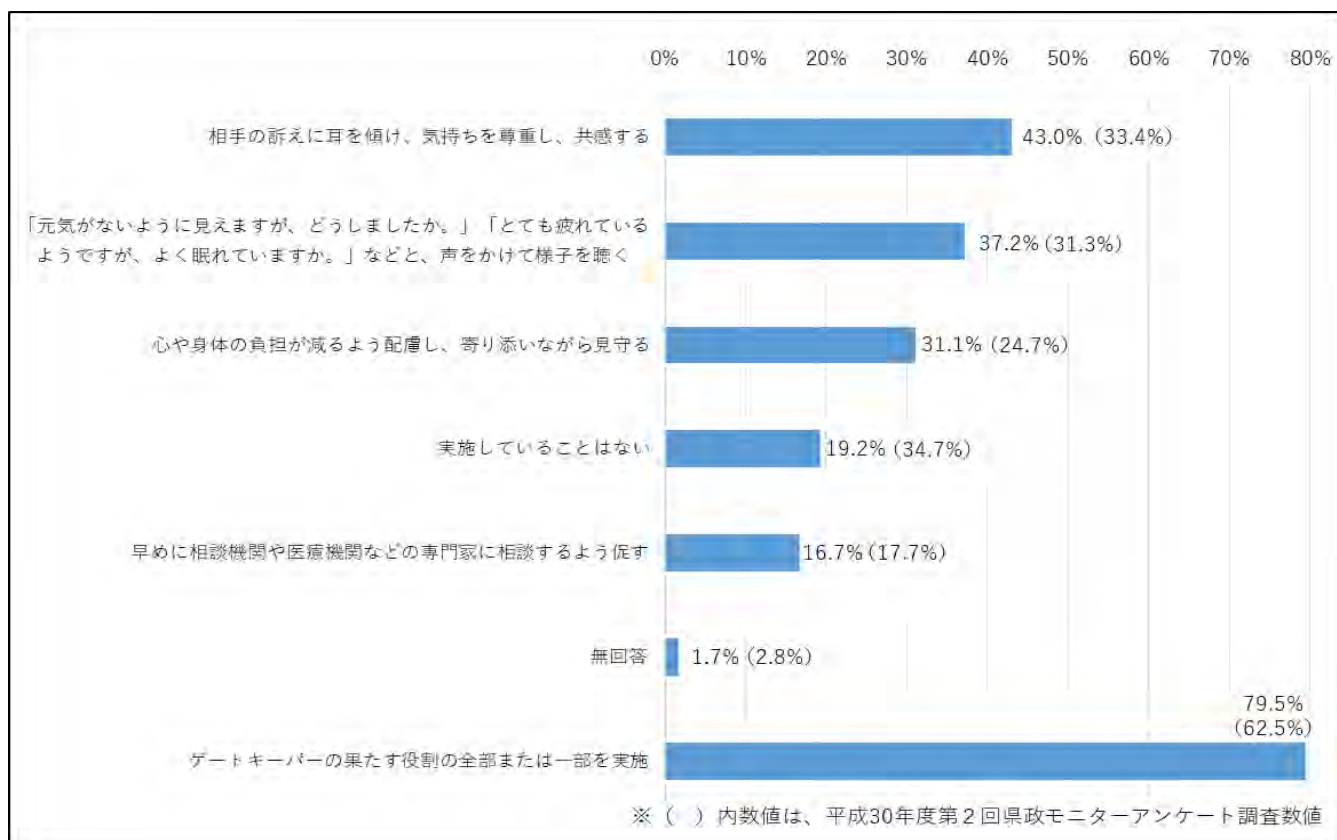
「相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する」が4割超、ゲートキーパーの果たす役割の全部または一部を実施している割合は約8割

問11 「表情が暗い」「元気がない」など、いつもと様子が違う人に対して、普段から実施していることはありますか。(〇はいくつでも)

	R3年度 n=899		H30年度 n=1,008	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する	387	43.0%	337	33.4%
「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く	334	37.2%	315	31.3%
心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る	280	31.1%	249	24.7%
実施していることはない	173	19.2%	350	34.7%
早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す	150	16.7%	178	17.7%
無回答	15	1.7%	28	2.8%
※ゲートキーパーの果たす役割(上記①～④)の全部または一部を実施	715	79.5%	630	62.5%

●『相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する』が43.0%と最も高く、次いで『「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く』が37.2%と続いている。

前回と比較し、ゲートキーパーの果たす役割の全部または一部実施している割合が17ポイント増加し79.5%となった。



《人生二毛作社会について》

<「人生二毛作社会」という表現>

「退職したシニアの第二の人生」の「そう思う」と「少しはそう思う」が合わせて6割超

問12 「人生二毛作社会」という表現をどのように感じますか。①から③のそれぞれについて、該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	n=899						回答数(人)						割合(%)					
	そう思う	少しはそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	少しはそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	少しはそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① 退職したシニアの第二の人生	337	256	116	95	75	20	37.5	28.5	12.9	10.6	8.3	2.2						
② 高齢者を対象とした社会	187	245	228	136	74	29	20.8	27.3	25.4	15.1	8.2	3.2						
③ 「人生二毛作社会」のイメージが湧かない	221	177	168	183	122	28	24.6	19.7	18.7	20.4	13.6	3.1						
その他	122						13.6											

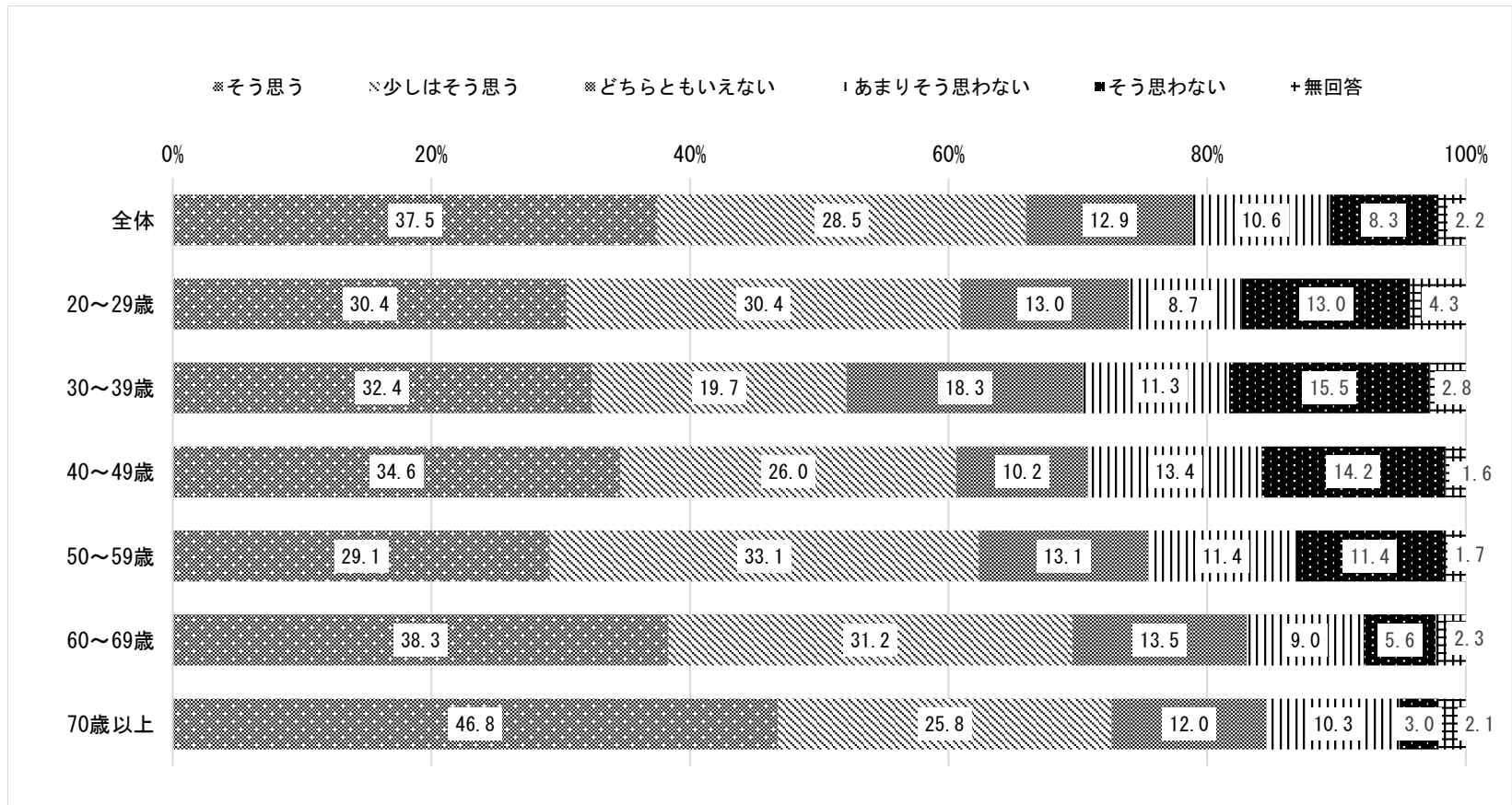
その他の主な内容は以下のとおり（抜粋）

- マルチステージを生きる時代、多様性を制限する表現に感じる。
- 退職を区切りに考えるのは、正しいアプローチであるか。
- 副業を推進する社会と勘違いしてしまいそう。
- ポジティブなイメージとなる表現が良い。

また、「イメージが湧かない」、「表現が分かりにくい」、「ふさわしい表現にした方が良い」との意見が多数あった。

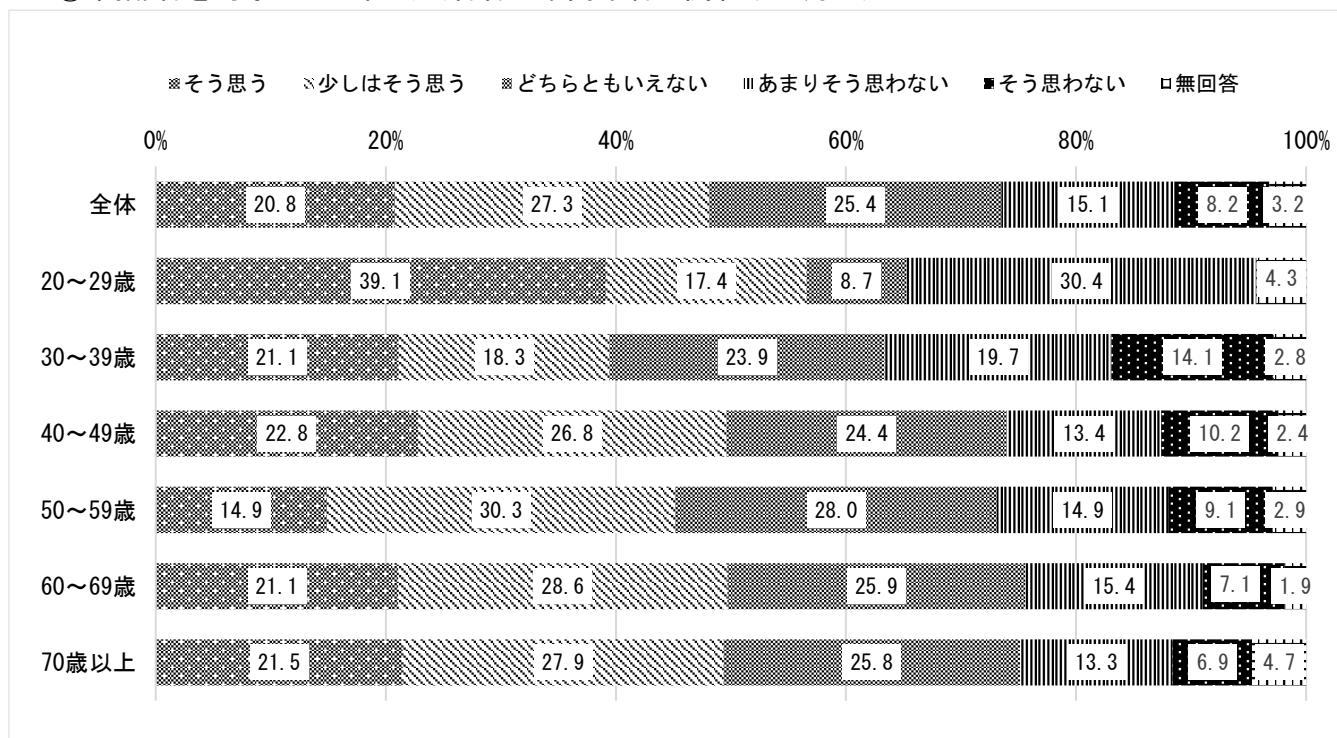
● 「退職したシニアの第二の人生」の「そう思う」、「少しはそう思う」の合算は、年代別では、70代以上が72.6%と最も高く、次に60代（69.5%）、50代（62.2%）となっている。

① 退職したシニアの第二の人生



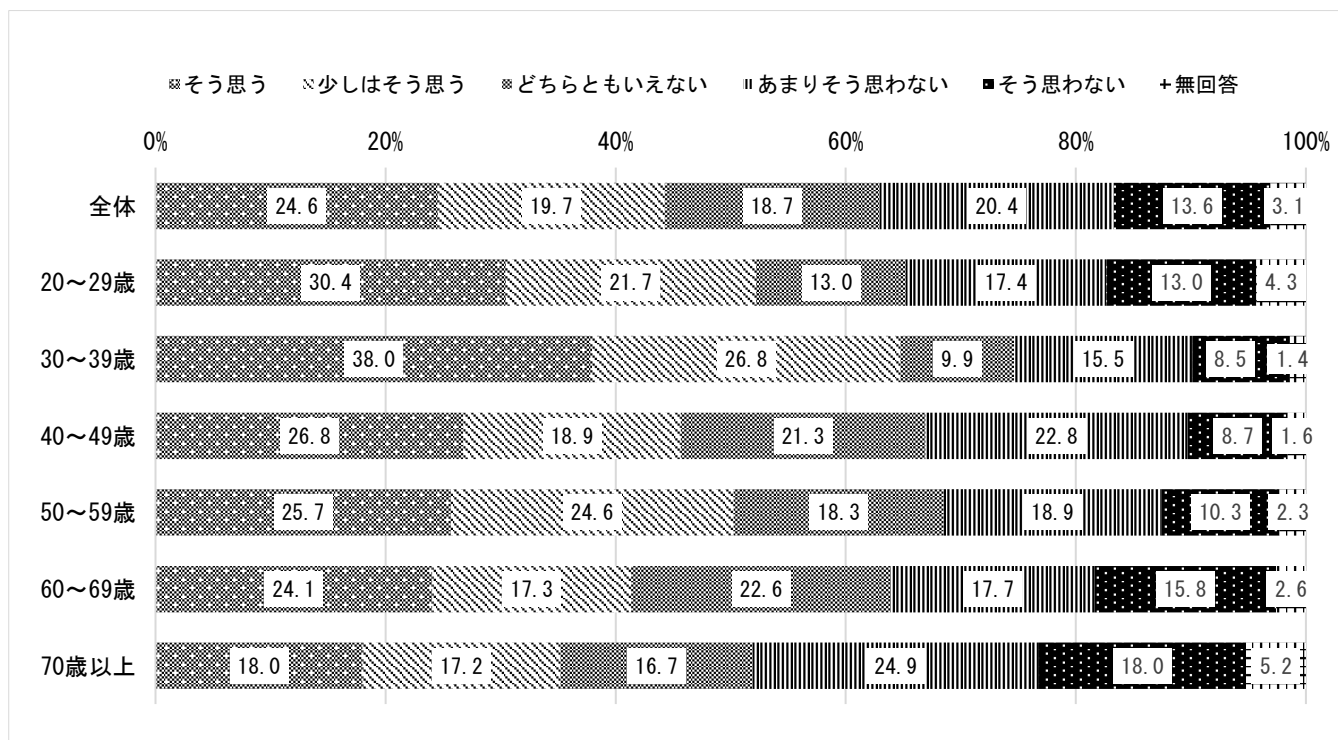
●「高齢者を対象とした社会（若者や中高年者の関わりが薄い）」の「そう思う」、「少しはそう思う」の合算は、年代別では、20代が56.5%と最も高く、次に60代（49.7%）、40代（49.6%）、70代以上（49.4%）となっている。

② 高齢者を対象とした社会（若者や中高年者の関わりが薄い）



●「「人生二毛作社会」のイメージが湧かない」の「そう思う」、「少しはそう思う」の合算は、年代別では、30代が64.8%と最も高く、次に20代（52.1%）となっている。

③ 「人生二毛作社会」のイメージが湧かない

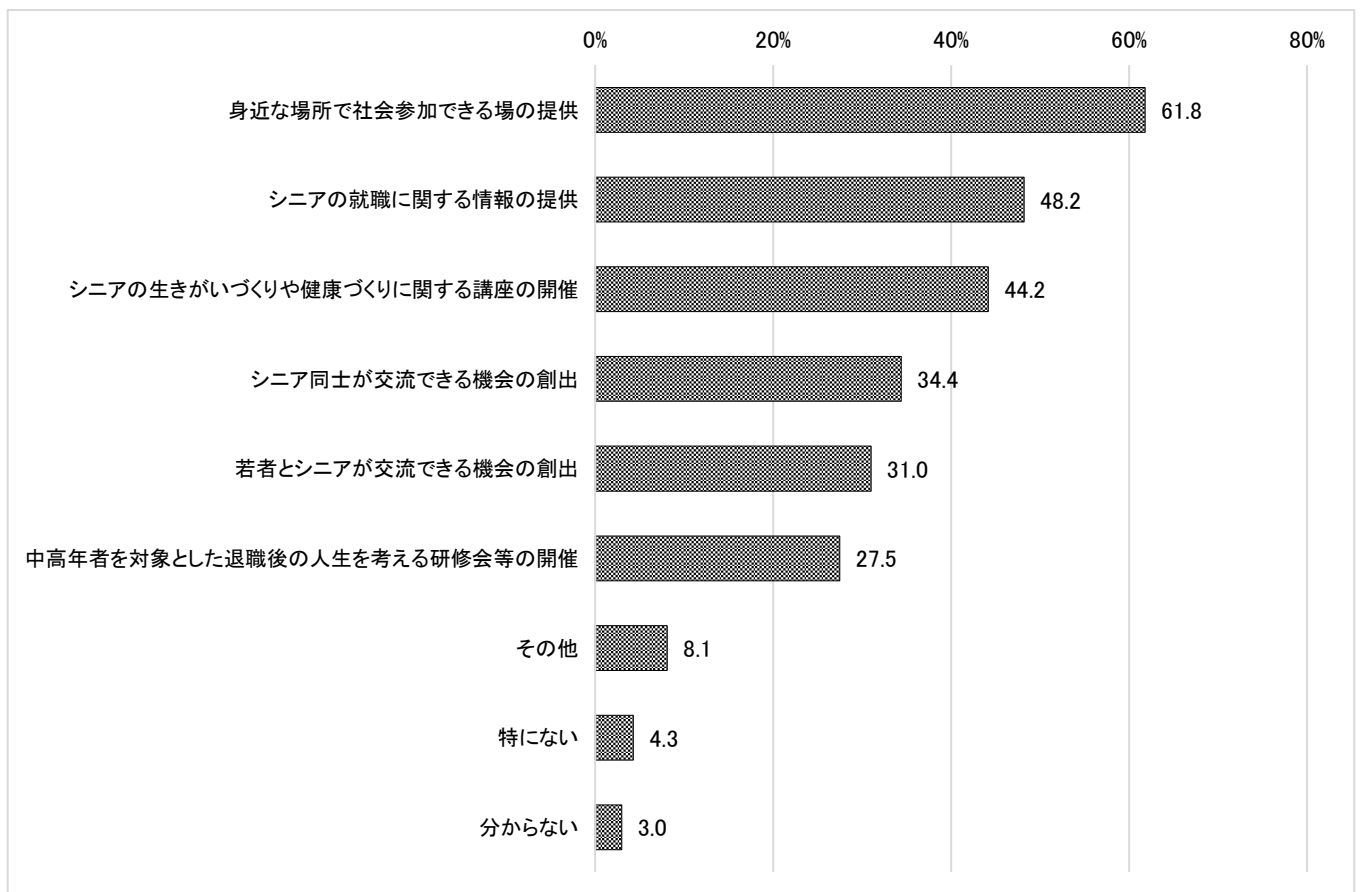


＜シニアが生きがいを持って暮らすために力を入れるべき取組＞
 「身近な場所で社会参加できる場の提供」が約6割

問13 人生100年時代を迎えて、シニアが自分らしく生きがいを持って暮らすためには、県としてどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

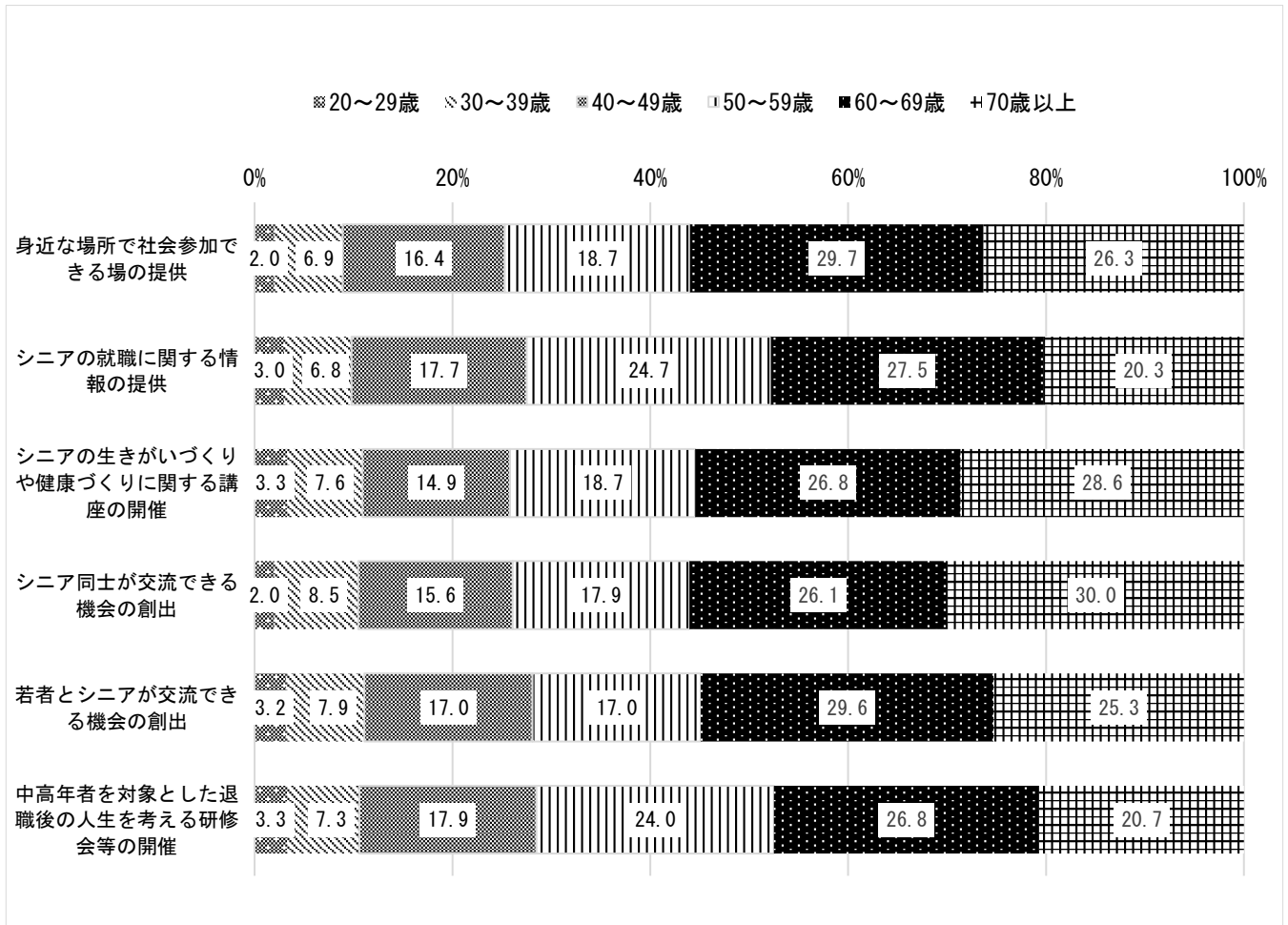
	回答数 (人)	割合 (%)
n=899		
① 身近な場所で社会参加できる場の提供	556	61.8
② シニアの就職に関する情報の提供	433	48.2
③ シニアの生きがいづくりや健康づくりに関する講座の開催	397	44.2
④ シニア同士が交流できる機会の創出	309	34.4
⑤ 若者とシニアが交流できる機会の創出	279	31.0
⑥ 中高年者を対象とした退職後の人生を考える研修会等の開催	247	27.5
⑦ その他	73	8.1
⑧ 特にない	39	4.3
⑨ 分からない	27	3.0

● 「身近な場所で社会参加できる場の提供」が61.8%と最も高く、次に「シニアの就職に関する情報提供」(48.2%)、「シニアの生きがいづくりや健康づくりに関する講座の開催」(44.2%)となっている。



⑦ その他の主な意見は以下のとおり（抜粋）

- シニアがいられる場を提供してほしい。
- シニアという言葉で区別せず、ボーダーレスで社会参加できるスタイルの推進。
- 若者、中高年の代から交流や社会参加をしていく仕組みづくりが必要。
- 退職してから始めるのではなく、もっと早いうちから意識を持ってもらいたい。



《道路整備等について》

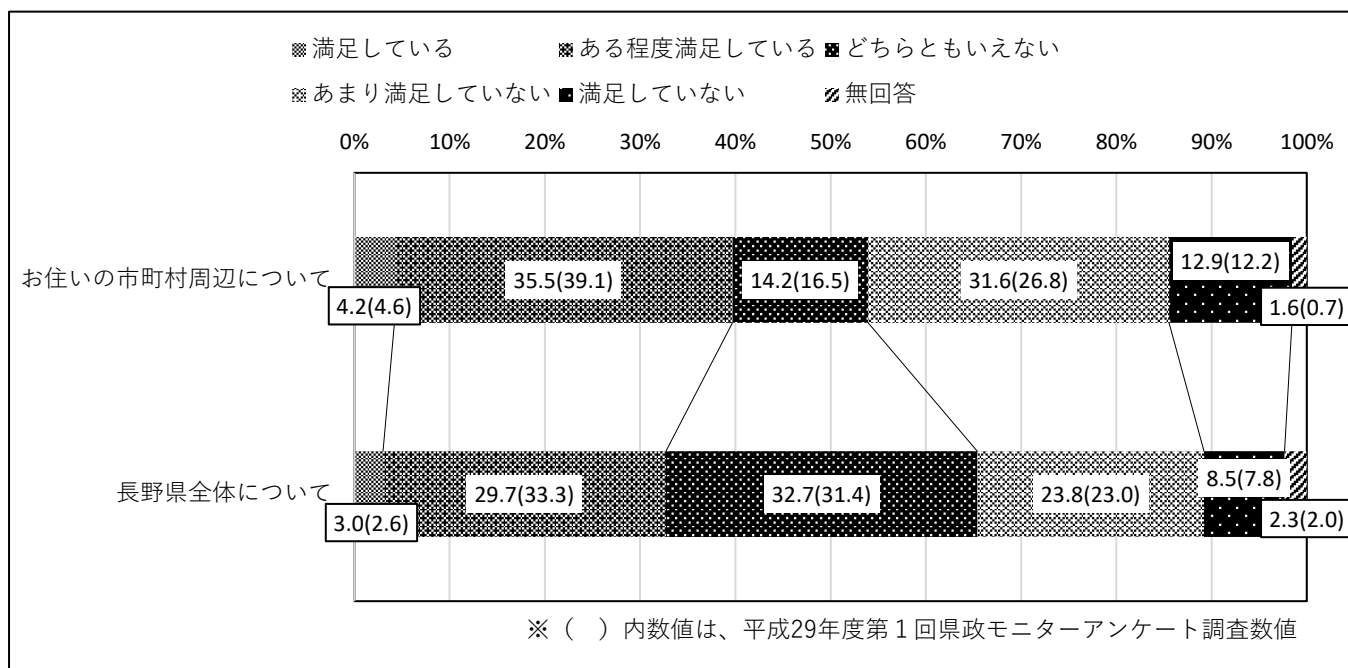
＜道路整備状況の満足度＞

「お住まいの市町村周辺について」では、「満足している」「ある程度満足している」が合わせて約4割

問14 現在の道路整備状況について満足していますか。(〇はそれぞれ1つ)

	R3年度 n=899		R3年度 n=899		H29年度 n=992		H29年度 n=992	
	お住まいの市町村周辺について		長野県全体について		お住まいの市町村周辺について		長野県全体について	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
満足している	38	4.2	27	3.0	46	4.6	26	2.6
ある程度満足している	319	35.5	267	29.7	388	39.1	330	33.3
どちらとも言えない	128	14.2	294	32.7	164	16.5	311	31.4
あまり満足していない	284	31.6	214	23.8	266	26.8	228	23.0
満足していない	116	12.9	76	8.5	121	12.2	77	7.8
無回答	14	1.6	21	2.3	7	0.7	20	2.0

●「お住まいの市町村周辺について」では、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせて39.7%、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせて44.5%となっている。



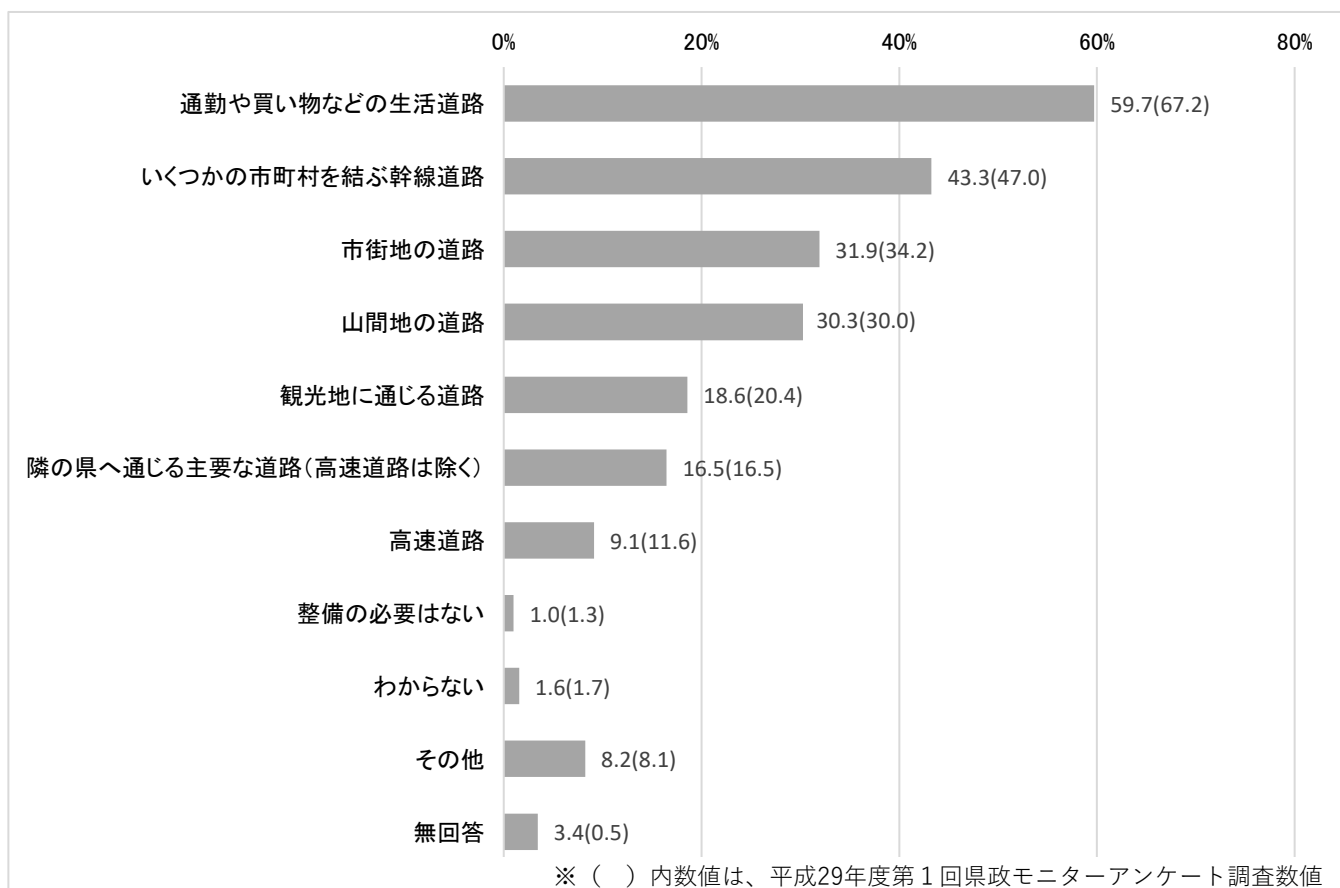
<優先して整備すべき道路>

「通勤や買い物などの生活道路」が6割弱、「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」が4割強

問15 今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	R3年度 n=899		H29年度 n=992	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
通勤や買い物などの生活道路	537	59.7	667	67.2
いくつかの市町村を結ぶ幹線道路	389	43.3	466	47.0
市街地の道路	287	31.9	339	34.2
山間地の道路	272	30.3	298	30.0
観光地に通じる道路	167	18.6	202	20.4
隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)	148	16.5	164	16.5
高速道路	82	9.1	115	11.6
整備の必要はない	9	1.0	13	1.3
わからない	14	1.6	17	1.7
その他	74	8.2	80	8.1
無回答	31	3.4	5	0.5

●「通勤や買い物などの生活道路」が59.7%と最も高く、次いで「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」(43.3%)、「市街地の道路」(31.9%)となっている。



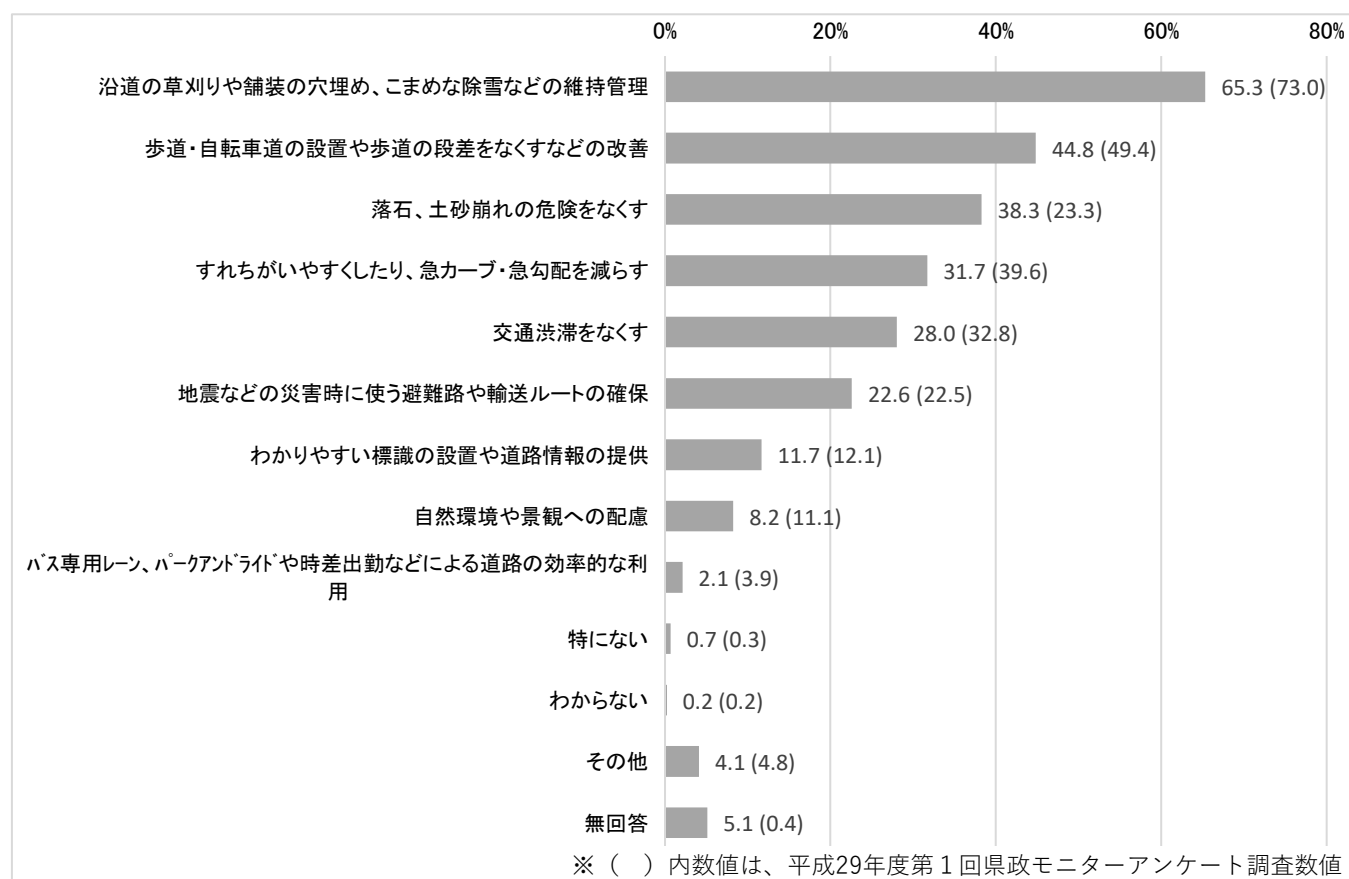
その他としては、「通学路」、「自転車道」等の回答が見られた。

<道路対策の優先度>
「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が6割超、「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」が4割超

問16 日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。
 (〇は3つまで)

	R3年度 n=899		H29年度 n=992	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理	587	65.3	724	73.0
歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	403	44.8	490	49.4
落石、土砂崩れの危険をなくす	344	38.3	231	23.3
すれちがいやすしたり、急カーブ・急勾配を減らす	285	31.7	393	39.6
交通渋滞をなくす	252	28.0	325	32.8
地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	203	22.6	223	22.5
わかりやすい標識の設置や道路情報の提供	105	11.7	120	12.1
自然環境や景観への配慮	74	8.2	110	11.1
バス専用レーン、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用	19	2.1	39	3.9
特にない	6	0.7	3	0.3
わからない	2	0.2	2	0.2
その他	37	4.1	48	4.8
無回答	46	5.1	4	0.4

●「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が65.3%と最も高く、次いで「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」(44.8%)、「すれちがいやすしたり、急カーブ・急勾配を減らす」(38.3%)が高い割合となっている。



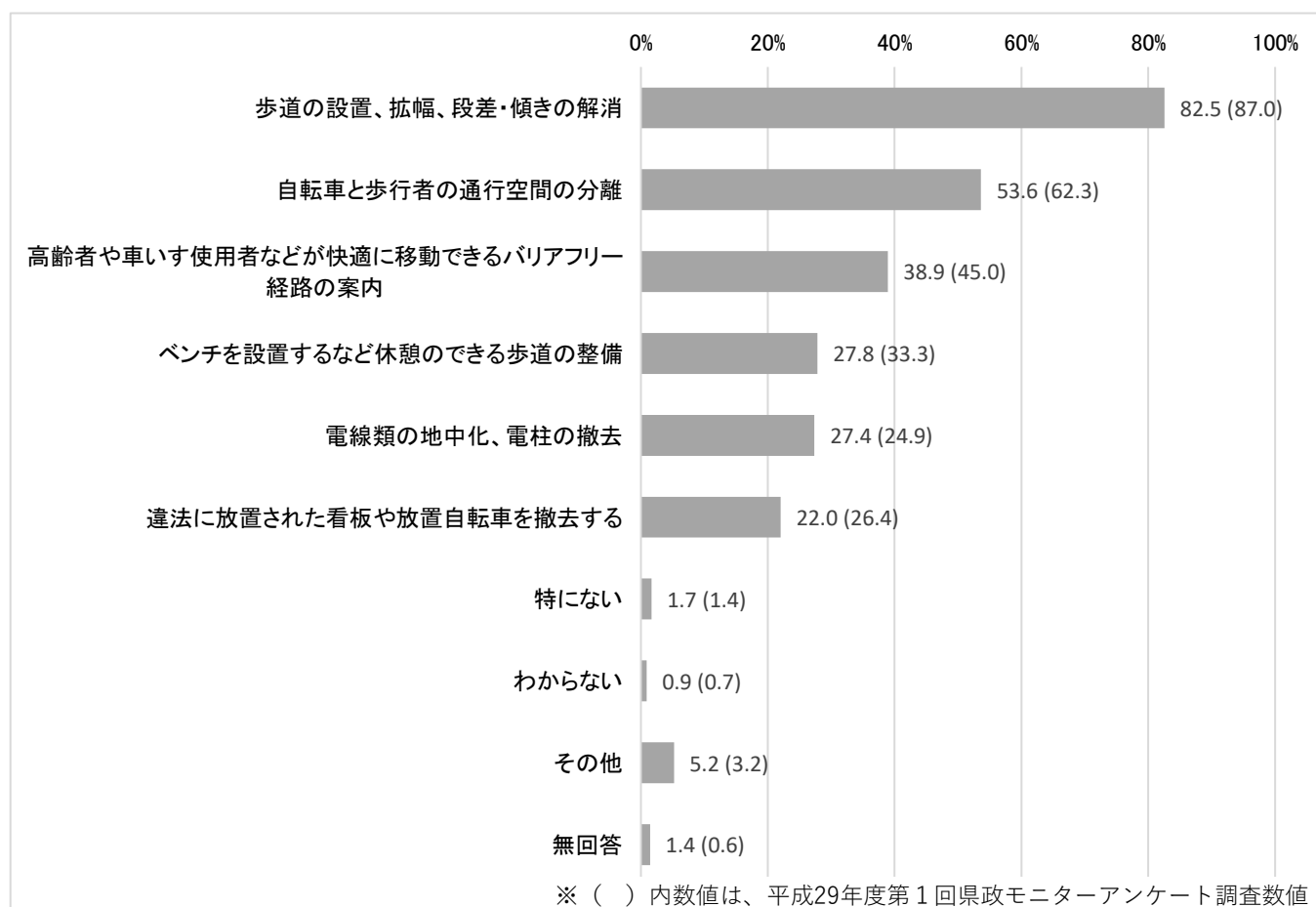
その他としては、「通学路の整備」、「右折レーンの設置」等の回答が見られた。

＜高齢歩行者への配慮に必要な道路整備＞
 「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」が約8割、「自転車と歩行者の通行空間の分離」が5割超

問17 高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。
 (〇はいくつでも)

	R3年度 n=899		H29年度 n=992	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消	742	82.5	863	87.0
自転車と歩行者の通行空間の分離	482	53.6	618	62.3
高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内	350	38.9	446	45.0
ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備	250	27.8	330	33.3
電線類の地中化、電柱の撤去	246	27.4	247	24.9
違法に放置された看板や放置自転車を撤去する	198	22.0	262	26.4
特にない	15	1.7	14	1.4
わからない	8	0.9	7	0.7
その他	47	5.2	32	3.2
無回答	13	1.4	6	0.6

●「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」が82.5%と最も高く、次いで「自転車と歩行者の通行空間の分離」(53.6%)、「高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内」(38.9%)となっている。



その他としては、「自動車の速度抑制対策」、「シニアカーなど個人の高齢者の移動が可能な環境

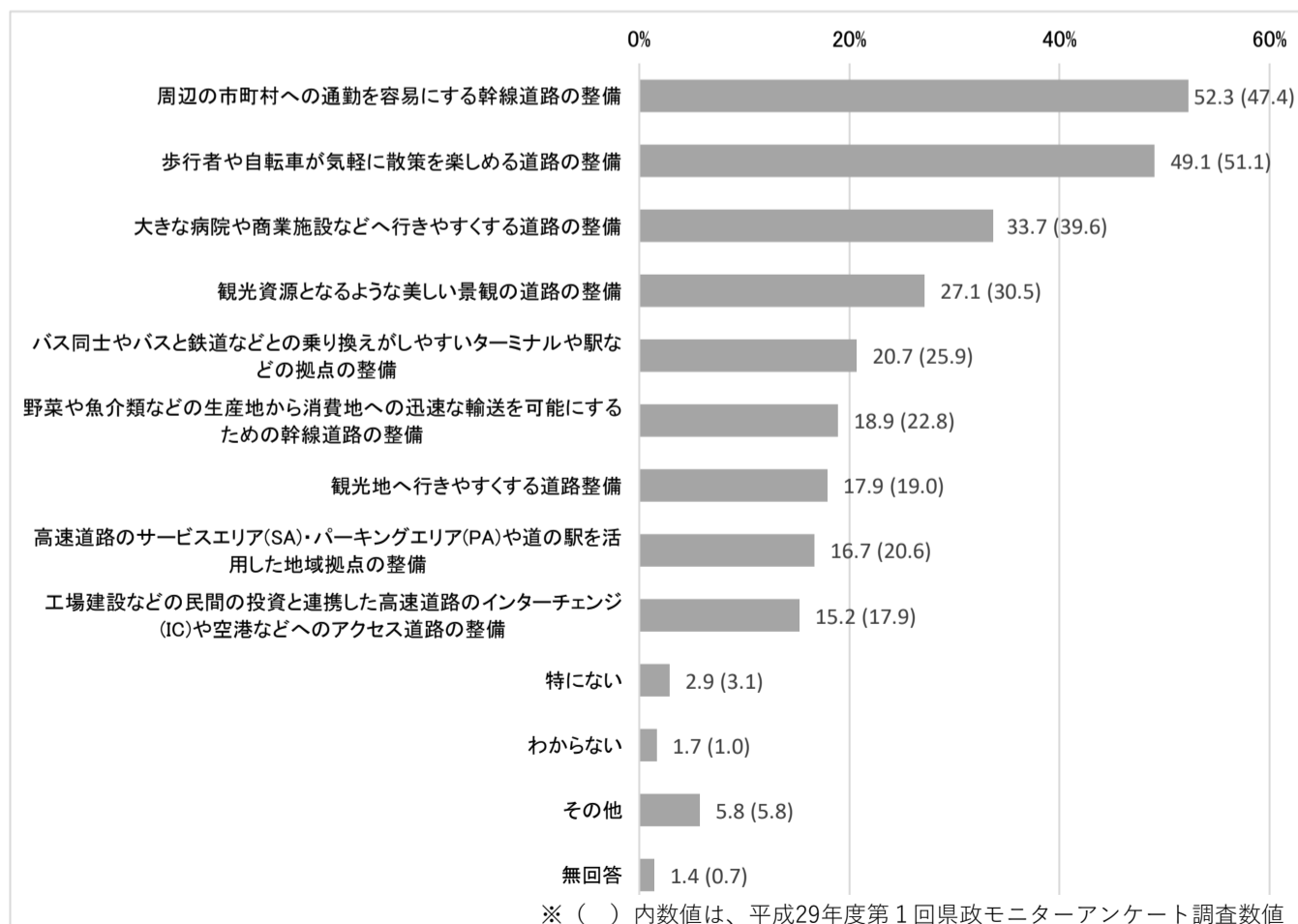
<地域活性化に必要な道路整備>

「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」、「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」が約5割

問18 お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

	R3年度 n=899		H29年度 n=992	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備	470	52.3	470	47.4
歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備	441	49.1	507	51.1
大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備	303	33.7	393	39.6
観光資源となるような美しい景観の道路の整備	244	27.1	303	30.5
バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備	186	20.7	257	25.9
野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備	170	18.9	226	22.8
観光地へ行きやすくする道路整備	161	17.9	188	19.0
高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)や道の駅を活用した地域拠点の整備	150	16.7	204	20.6
工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジ(IC)や空港などへのアクセス道路の整備	137	15.2	178	17.9
特にない	26	2.9	31	3.1
わからない	15	1.7	10	1.0
その他	52	5.8	58	5.8
無回答	13	1.4	7	0.7

●「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」が52.3%と最も高く、次いで「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」(49.1%)、「大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備」(33.7%)となっている。



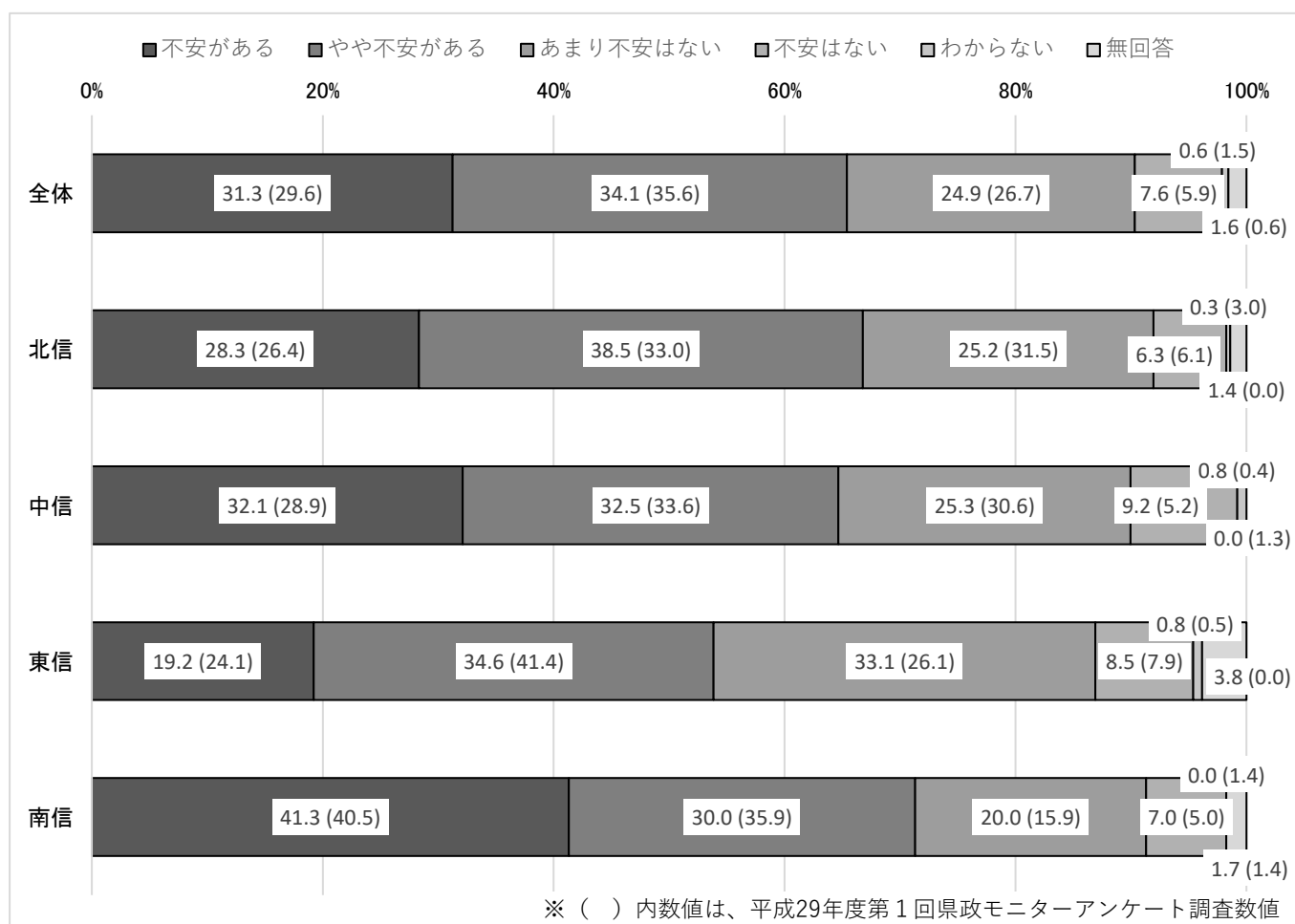
その他としては、「ラウンドアバウトの普及」、「道路の維持管理」等の回答が見られた。

<大地震や大雨などの自然災害時における道路網分断の不安感>
「不安がある」「やや不安がある」が合わせて6割超

問19 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。(○は1つ)

	R3年度 n= 899		H29年度 n=992	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
不安がある	281	31.3	294	29.6
やや不安がある	307	34.1	353	35.6
あまり不安はない	224	24.9	265	26.7
不安はない	68	7.6	59	5.9
わからない	5	0.6	15	1.5
無回答	14	1.6	6	0.6

●「不安がある」と「やや不安がある」を合わせた割合は65.4%、地域別では、南信が71.3%と最も高く、次いで北信(66.8%)、中信(64.6%)、東信(53.8%)となっている。



Ⅲ 調 査 票

【アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について】

県では、「最高品質の行政サービスを提供し、ふるさと長野県の発展と県民のしあわせの実現（県の行政経営理念）」に向け、組織としての具体的な取組方針である「行政経営方針」に基づき、組織一丸となって取組を進めています。

近年、台風・豪雨災害など災害の激甚化、新型コロナ等の危機事象の頻発化、社会の急速なデジタル化、脱炭素社会の実現など、県を取り巻く社会情勢は急速に変化しています。

こうした社会情勢の変化や新たな行政課題に対応していくため、現行の行政経営方針を継承・発展させ、新時代の行政経営への質的転換と財政構造改革を目指す「新たな行政・財政改革方針（仮称）」の策定を進めています。

「新たな行政・財政改革方針」の策定にあたり、これからの県組織のあるべき姿や県の行財政の方向性について、県民の皆様から広くご意見を賜り、方針に反映させていきたいと考えていますので、率直なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

問1 県の行っている行政サービス全般（※）について、あなたはどれくらい満足していますか。（〇は1つ）（※問2の選択肢も参考にしてください）

- ① 不満・もっと努力すべき
- ② やや不満・もう少し努力すべき
- ③ どちらともいえない
- ④ やや満足・努力している
- ⑤ 満足・よく努力している

問2 県の行っている以下の分野の行政サービスについて、満足度を教えてください。（〇はそれぞれ1つ）

	不満・ もっと努力 すべき	やや不 満・もう 少し努力 すべき	どちら ともいえ ない	やや満 足・努力 している	満足・よ く努力し ている
① 防災（危機管理・災害対応（新型コロナ対応含む）、防災情報発信、消防）	1	2	3	4	5
② 暮らし・安全（公共交通、人権・男女共同参画、県民協働・NPO、交通安全、防犯、消費者保護）	1	2	3	4	5
③ 環境（脱炭素社会づくり（ゼロカーボン）、自然・環境保護・保全、ごみ・リサイクル）	1	2	3	4	5
④ 健康・福祉・医療（健康づくり、地域医療、介護、障がい者福祉、食品・生活衛生）	1	2	3	4	5
⑤ 教育（学校教育、教育のICT化等） 環境整備、高校改革、スポーツ推進、文化・芸術、生涯学習	1	2	3	4	5

- ⑥ 子育て（児童福祉、子育て支援、結婚支援、子ども・若者支援） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑦ 農業・畜産業・林業・水産業（生産振興、技術支援、普及指導、後継者育成、ブランド化） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑧ 仕事・産業（商工業、雇用創出、能力開発、産業・中小企業支援、産業誘致） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑨ 観光（山岳観光振興、観光振興・支援、観光PR・ブランド化、移住推進、国際交流推進） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑩ 社会基盤（道路、河川、砂防、都市計画、上下水道・電気、土地対策） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

問3 県では、行政サービスの質の向上に向け、行政経営方針に基づき、行政・財政改革に取り組んでいます。現在取り組んでいる以下の取組について、今後も取り組んでいくべきだと思うものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 県民協働の推進（県民、NPO、企業など多様な主体との協働の推進）
- ② 県政への参加（施策の企画立案や事業実施における県民や関係者の意見の把握と県政への反映）
- ③ 市町村等との連携推進（災害対応、観光振興など広域的課題における国、他県、市町村等との連携）
- ④ 人口減少時代に合わせた効率的な職員体制の構築
- ⑤ ファシリティマネジメントの推進（※1）（県有財産の総量縮小、効率的利用、県有施設の長寿命化、維持管理の適正化）
- ⑥ 持続可能な財政運営（税収・新たな歳入の確保、重要施策・課題への予算の重点化、行政コストの公表など財政の「見える化」）
- ⑦ 施策立案への統計データの活用、県が保有する統計データの公開（オープンデータ化）
- ⑧ 広報・情報発信の充実（SNSやチャットを活用した様々な媒体による県行政の取組や長野県の魅力の効果的な発信、見やすくわかりやすいホームページづくり）

（※1）ファシリティマネジメントとは
土地、建物、工作物などの財産を経営資源と捉え、総合的、長期的な観点により、財産を戦略的かつ適正に保有・処分・維持・利活用を行う手法

問4 県では、社会情勢の急速な変化に伴う新たな行政課題に対応していくため、新たな行政・財政改革に取り組もうとしています。今後の行政・財政改革では、どのような分野を重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- ① ICT（※2）の活用による効率化・県民サービスの向上（行政手続のオンライン化、AI（人工知能）・RPA（※3）の活用による仕事の減量化・業務効率化、キャッシュレス決済の拡大等）
- ② 職員の資質・能力・専門性の向上、学ぶ姿勢への意識改革
- ③ 持続可能な財政基盤づくり（徹底した事務事業の見直しや歳出削減・歳入確保等）
- ④ 県政情報の効果的な発信、積極的な情報公開（SNSやチャットの積極的・有効活用等）
- ⑤ 県の危機管理能力の強化（大規模災害や新型コロナ等の危機事象への対応等）
- ⑥ 気候変動対策への貢献（持続可能な脱炭素（ゼロカーボン）社会づくり）

（※2）ICTとは
情報通信技術のこと。ICTの活用により、行政手続がオンライン化による業務効率化や、テレワークの導入による働き方改革など、様々なことが期待できる。

（※3）RPAとは
ロボティック・プロセス・オートメーションの略。ソフトウェアロボットに定型作業を代行させることで、作業を自動化できるツール。パソコンでの入力作業や集計作業のほか、行政への各種申請・窓口対応の自動化も可能。

問5 その他、今後の長野県の目指すべき姿・方向についてご意見がありましたらお聞かせください。
（行政経営、行財政運営、職員の育成・意識改革・働き方改革など、どんなことでもけっこうです。）

【自殺対策について】

長野県では、毎年300人以上の方が自殺で亡くなっている中、平成30年3月に「第3次長野県自殺対策推進計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない信州」の実現を目指し、人材育成、普及啓発、関係機関とのネットワーク強化、市町村支援などの取組を行っています。

つきましては、今後の自殺対策の参考とするため、以下についてお伺いします。

問6 自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。次の①から⑥のそれぞれについて、該当するもの1つだけに○をつけてください。（○はひとつずつ）

項目	知っていた	知らなかった
①こころの健康相談統一ダイヤル(※1)		
②こころの相談窓口(※2)		
③よりそいホットライン(※3)		
④長野いのちの電話(※4)		
⑤各種SNS相談窓口(※5)		
⑥ゲートキーパー(※6)		

※1 「こころの健康相談統一ダイヤル」

- ・ ☎0570-064-556 (相談時間/月～金(祝日を除く)9:30～16:00、18:30～22:00)
- ・ 消えてしまいたい、家族や知人に死にたいと訴える人がいる、身内が自死してつらくてどうしようもない、などの自殺に関する相談をお受けします。

※2 「こころの相談窓口」

- ・ ☎026-266-0280 (相談時間/月～金(土日祝日を除く)8:30～17:15)
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連のこころの相談窓口として、令和2年2月25日に設置

※3 「よりそいホットライン」

- ・ ☎0120-279-338 (24時間・通話料無料)
- ・ 暮らしの困りごと、心の悩みごと、DV問題などの様々な問題について受け付けます。

※4 「長野いのちの電話」

- ・ ☎0120-279-338 (24時間・通話料無料)
- ・ 孤独や不安に陥ったり、生きる目標が見えなくなったり、心が疲れて自分を見失っている人々に、電話を通して共に考え感じ、援助します。

※5 「各種SNS相談窓口」

- ・ LINEやメールなどの相談窓口です。(例)長野県教育委員会「ひとりで悩まないで@長野」、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク「生きづらびっと」「よりそいチャット」、NPO法人東京メンタルヘルス・スクエア「こころのホットチャット」、NPO法人BONDプロジェクト など

※6 「ゲートキーパー」

- ・ 地域の中で自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、見守りや、必要に応じて専門家へつなぐ役割を期待される人。具体的な役割は、問11の選択肢①～④にあります。

問7-1 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩みやストレスを抱えていますか。それはどのような悩みですか。以下のあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

項目	○	相談した場合は相談先(問10より選択) ※
①家族・家庭関係		
②収入減・生活困窮関係		
③仕事・職場関係		
④学校・教育関係		
⑤様々な行動の制約		
⑥感染リスク		
⑦その他 ※		
⑧抱えていない		

問7-2 問7-1で①～⑦を選択した方にお聞きします。悩みやストレスの具体的な内容をお聞かせください。

問8 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(○はひとつ)

- ① そう思う
 - ② どちらかというそう思う
 - ③ どちらかというそうは思わない
 - ④ そうは思わない
 - ⑤ わからない
- } 問9へ
- } 問10へ

問9 問8で「①そう思う」または「②どちらかというそう思う」を選ばれた方にお伺いします。誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるのはなぜですか。その理由について、あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- ① 自分で解決できるから
- ② 周囲の目が気になるから
- ③ 相談しても変わらないから
- ④ どこに相談すればいいのか分からないから
- ⑤ 近くに相談できる人がいない、または相談機関がないから
- ⑥ かつて相談したことがあるが不快な思いをしたから
- ⑦ その他 ()

問10 「死にたい」ほどつらい気持ちになったとき、どのような相談相手(窓口)に相談したいと思えますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

項目	○
① 専門家(電話相談窓口)	
② 専門家(各種SNS相談窓口)	
③ 家族・友人・同僚など	
④ 医療機関	
⑤ 地域支援者(民生委員、保健師など)	
⑥ その他(具体的な相談相手を教えてください)	
⑦ 誰にも相談したくない	

↓具体的な相談相手(自由記載)

問11 「表情が暗い」「元気がない」など、いつもと様子が違う人に対して、普段から実施していることはありますか。(○はいくつでも)

- ① 「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く
- ② 相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する
- ③ 早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す
- ④ 心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る
- ⑤ 実施していることはない

【人生二毛作社会について】

県では、仕事を退職した元気な高齢者が第二の人生を、自分らしく生きがいを持って暮らせる「人生二毛作社会」(*)を推進しています。
つきましては、今後の取組の参考とするため、以下についてお伺いします。

※ 人生二毛作社会とは
シニア世代が培ってきた豊富な知識と経験を社会参加や仕事で活かし、地域の担い手として元気に活躍できる社会のことです。

問12 「人生二毛作社会」という表現をどのように感じますか。①から③のそれぞれについて、該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

- | | そう思う | 少しは
そう思う | どちら
ともいえ
ない | あまり
そう思
わない | そう
思わな
い |
|-----------------------------------|------|-------------|-------------------|-------------------|----------------|
| ① 退職したシニアの第二の人生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 高齢者を対象とした社会
(若者や中高年者の関わりが薄い) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 「人生二毛作社会」のイメージが湧かない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ その他() | | | | | |

問13 人生100年時代を迎えて、シニアが自分らしく生きがいを持って暮らすためには、県としてどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- ① シニア同士が交流できる機会の創出
- ② 若者とシニアが交流できる機会の創出
- ③ 中高年者を対象とした退職後の人生を考える研修会等の開催
- ④ シニアの生きがいづくりや健康づくりに関する講座の開催
- ⑤ 身近な場所で社会参加できる場の提供
- ⑥ シニアの就職に関する情報の提供
- ⑦ 分からない
- ⑧ 特にない
- ⑨ その他()

【道路整備等に関する意識調査について】

近年、道路に求められる役割は、従前からの交通の円滑性・安全性向上に加え、景観等の質的向上やまちづくりへの寄与など、多様化しています。

今後の道路整備方針に道路を利用する皆様のご意見を参考としたいため、問14～19についてお伺いします。

問14 あなたは、現在の道路整備状況について満足していますか。（〇はそれぞれ1つ）

	満足 している	ある程度 満足 している	どちら ともいえ ない	あまり 満足して いない	満足して いない
①お住いの市町村周辺について	1	2	3	4	5
②長野県全体について	1	2	3	4	5

問15 あなたは、今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 通勤や買い物などの生活道路
- ② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路
- ③ 市街地の道路
- ④ 山間地の道路
- ⑤ 観光地に通じる道路
- ⑥ 隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)
- ⑦ 高速道路
- ⑧ 整備の必要はない
- ⑨ 分からない
- ⑩ その他()

問16 あなたが日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理
- ② すれちがいやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす
- ③ 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善
- ④ 落石、土砂崩れの危険をなくす
- ⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保
- ⑥ 交通渋滞をなくす
- ⑦ わかりやすい標識の設置や道路情報の提供
- ⑧ 自然環境や景観への配慮
- ⑨ バス専用レーンの設置、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他()

問17 あなたは、高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ① 歩道を設置したり幅を拡げたり、段差・傾きの解消などを行う
- ② 電線類の地中化を行い、電柱を撤去する
- ③ 自転車と歩行者の通行空間を分離する
- ④ 違法に設置された看板や放置自転車を撤去する
- ⑤ 高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内をする
- ⑥ ベンチを設置するなど休憩のできる歩道を整備する
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他()

問18 あなたは、お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ① 工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジや港湾・空港などへのアクセス道路の整備
- ② 野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備
- ③ 周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備
- ④ 大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備
- ⑤ 高速道路のサービスエリア・パーキングエリアや道の駅を活用した地域拠点の整備
- ⑥ 観光地へ行きやすくする道路の整備
- ⑦ 観光資源となるような美しい景観の道路の整備
- ⑧ 歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備
- ⑨ バス同士やバスと鉄道などの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他()

問19 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。（〇は1つ）

- ① 不安がある
- ② やや不安がある
- ③ あまり不安はない
- ④ 不安はない
- ⑤ わからない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。